

令和5年度事業

# 保健医療に関する県民意識調査 結果報告書

令和5年10月

和歌山県 福祉保健部 健康局



## 目次

### I 調査概要

- 1. 調査の概要 ..... 1
- 2. 本書利用上の注意点..... 2

### II 調査結果

- 1. 性別・年齢・住まいなど..... 3
  - ① 性別..... 3
  - ② 年齢..... 3
  - ③ 職業..... 4
  - ④ 住まい..... 4
  - ⑤ 世帯構成..... 6
  - ⑥ 加入している医療保険..... 6
- 2. かかりつけ医 ..... 7
  - ① - (1) かかりつけの医師の有無..... 7
  - ① - (2) かかりつけの歯科医師の有無..... 8
  - ① - (3) かかりつけの薬局・薬剤師の有無..... 9
  - ② かかりつけ医は誰か..... 10
  - ③ かかりつけ医を決めていない理由..... 10
- 3. 医療機関の受診..... 11
  - ① 少し体調が悪い時に診察を希望する医療機関..... 11
  - ② 少し体調が悪い時に大きな病院で診てもらいたい理由..... 12
  - ③ 病気の診察や治療で望むこと..... 12
  - ④ 訪問診療や往診を受けたことはあるか..... 15
  - ⑤ オンライン診療を受けたことはあるか..... 16
  - ⑥ 少し離れた医療機関に通院する際に使う主な移動手段..... 17
  - ⑦ 50キロほど離れた医療機関でしか診察・治療ができない場合に、そこへ通院するために必要な支援..... 18
  - ⑧ 「セカンド・オピニオン」という言葉の認知度..... 21

4. 自分の医療費 .....	22
① 医療費通知の内容を見ているか.....	22
5. 健康づくり・健康診断.....	23
① 健康のために気をつけていること.....	23
② 社会活動やグループ活動への参加頻度.....	23
③ 地域の人たちとのつながり.....	27
④ 過去1年以内に健康診断や人間ドックを受診したか.....	28
⑤ 健診後に医療機関を受診するよう勧められたか.....	30
⑥ 健診を受けなかった理由.....	31
⑦ 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）予防・改善 のために実践しているもの.....	34
⑧ 「オーラルフレイル」という言葉の認知度.....	35
6. 循環器病（脳卒中や心疾患）.....	36
① 各症状が出た場合にどうするか[症状別].....	36
② 脳卒中・心疾患の症状だと思うもの.....	37
7. がん .....	39
① がん検診は受けたか.....	39
② がん検診を受けなかった理由.....	42
③ がんと診断された場合に病院選びの基準で重視するもの.....	44
④ 「緩和ケア」とはどのようなものと思うか.....	44
⑤ 「緩和ケア」を受けるならどこで受けたいか.....	45
8. 医薬品 .....	46
① 医薬品の使用.....	46
② 後発医薬品を処方してほしいか.....	46
③ マイナンバーカードを利用し電子処方せんを選ぶことのメリットで知っているもの .....	47
9. 移植医療 .....	48
① 臓器提供の意思表示.....	48
② 意思表示の方法で知っているもの.....	50

③	骨髄バンクへの登録状況.....	50
④	骨髄バンクに登録していない・登録できない理由.....	51
<b>10.</b>	<b>救急医療</b> .....	<b>52</b>
①	過去1年間に体調が急に悪化したことはあるか.....	52
②	体調が急に悪化した時にどうしたか.....	52
③	子ども救急相談ダイヤル（#8000）を知っているか.....	53
④	子ども救急相談ダイヤル（#8000）をどこで知ったか.....	54
<b>11.</b>	<b>人生の最終段階における医療</b> .....	<b>55</b>
①	人生の最終段階における医療・ケアについて、受けたいもの・受けたくないものを家族と話し合ったことはあるか.....	55
②	家族と話し合った理由.....	56
③	家族と話し合っていない理由.....	57
④	自分の最期をどう過ごしたいか.....	57
<b>12.</b>	<b>医療について感じていること（自由意見）</b> .....	<b>59</b>

### Ⅲ 参考資料（調査票）



# I 調査概要

---

## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

第八次和歌山県保健医療計画など、今後の保健医療行政推進の参考とするため、保健医療に関する県民の意識や希望を調査

### (2) 調査対象および抽出方法

満20歳以上79歳以下の県民 5,100人  
住民基本台帳に基づき、市町村別・年齢層別に無作為抽出  
(抽出基準日：令和5年4月1日)

### (3) 調査方法

郵送による調査票の送付・回収

### (4) 調査期間

令和5年7月10日～令和5年7月31日

### (5) 調査内容

巻末参考資料「調査票」参照

### (6) 回収結果

配付数：5,100 (うち未達分を除く有効配付数 5,066 )

回答数：1,929

回収率：38.1% (= 回答数 / 有効配付数)

### (7) その他

調査票の発送や集計、分析等の調査業務の一部を外部委託  
(受託事業者：一般財団法人和歌山社会経済研究所)

## 2. 本書利用上の注意点

### (1) 回答者の居住地域について

回答者の居住地域については、第七次和歌山県保健医療計画における二次保健医療圏(\*)を単位として整理している。各二次保健医療圏を構成する市町村は以下の通り。

二次保健医療圏	構成市町村名
和歌山	和歌山市、海南市、紀美野町
那賀	紀の川市、岩出市
橋本	橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町
有田	有田市、湯浅町、広川町、有田川町
御坊	御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町
田辺	田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町
新宮	新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町

(\*) 医療法第30条の4第2項第12号の規定に基づき設定するもので、入院を中心とする一般的な医療サービスと、広域的・専門的な保健医療サービスを提供するための圏域（地理的条件や交通事情等を考慮のうえ設定）。

### (2) 図表グラフの形式等について

各設問の標本数（回答者数）は、図表グラフ中に「n=●●●」と表示している。なお、性別、年齢、居住市町村の各項目については無回答者がいるため、各標本数の合計は、県全体の標本数と一致しない場合がある。

### (3) 回答の構成比について

回答の構成比は、四捨五入により小数第1位までの表示としている。



## II 調査結果

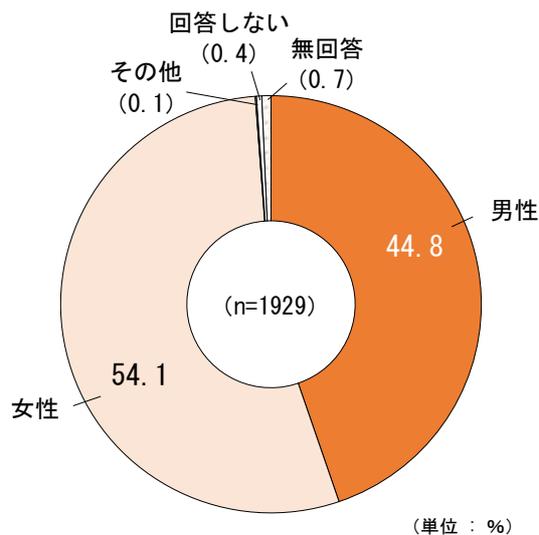
---

## 1. 性別・年齢・住まいなど

### ① 性別（単一回答）

○「女性」が54.1%で、「男性」の44.8%を上回る

図表 1-1 性別

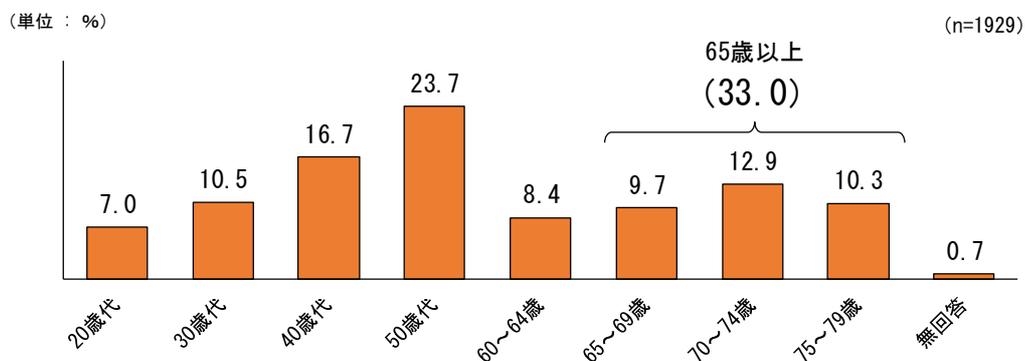


### ② 年齢（単一回答）

○「50歳代」が23.7%で最も多く、「70歳代」が次に多い

○「65歳以上」が33.0%を占める

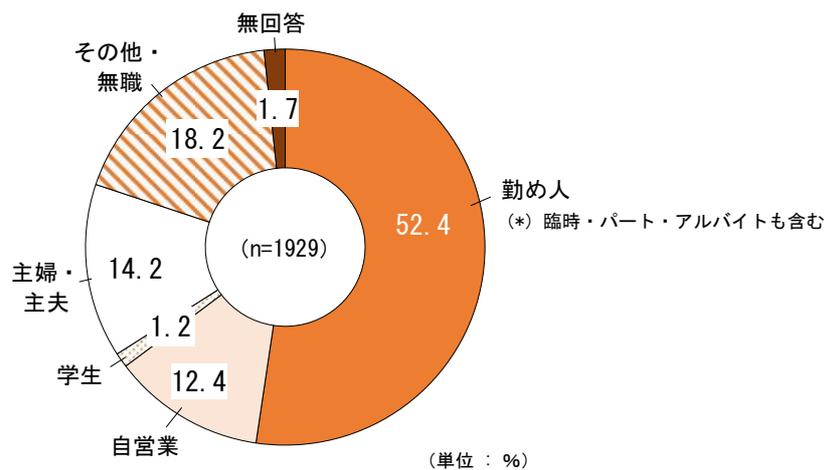
図表 1-2 年齢



### ③ 職業（単一回答）

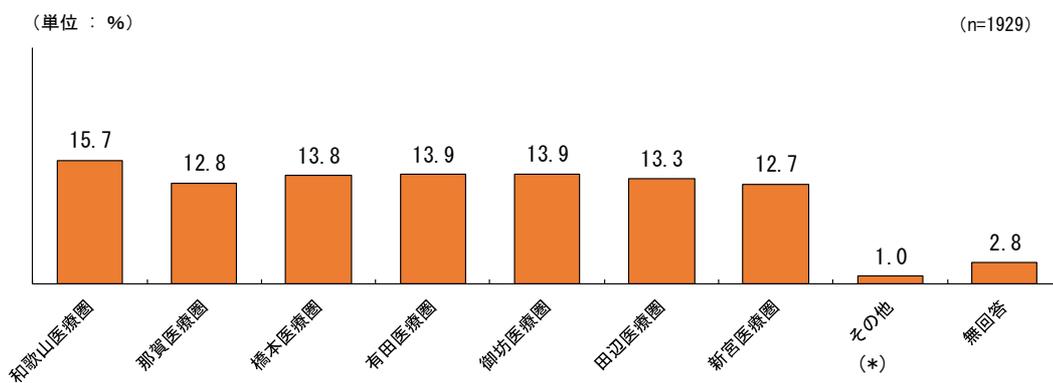
○「勤め人」が52.4%で最も多く、「その他・無職」(18.2%)、「主婦・主夫」(14.2%)、「自営業」(12.4%)が後に続く

図表 1-3 職業



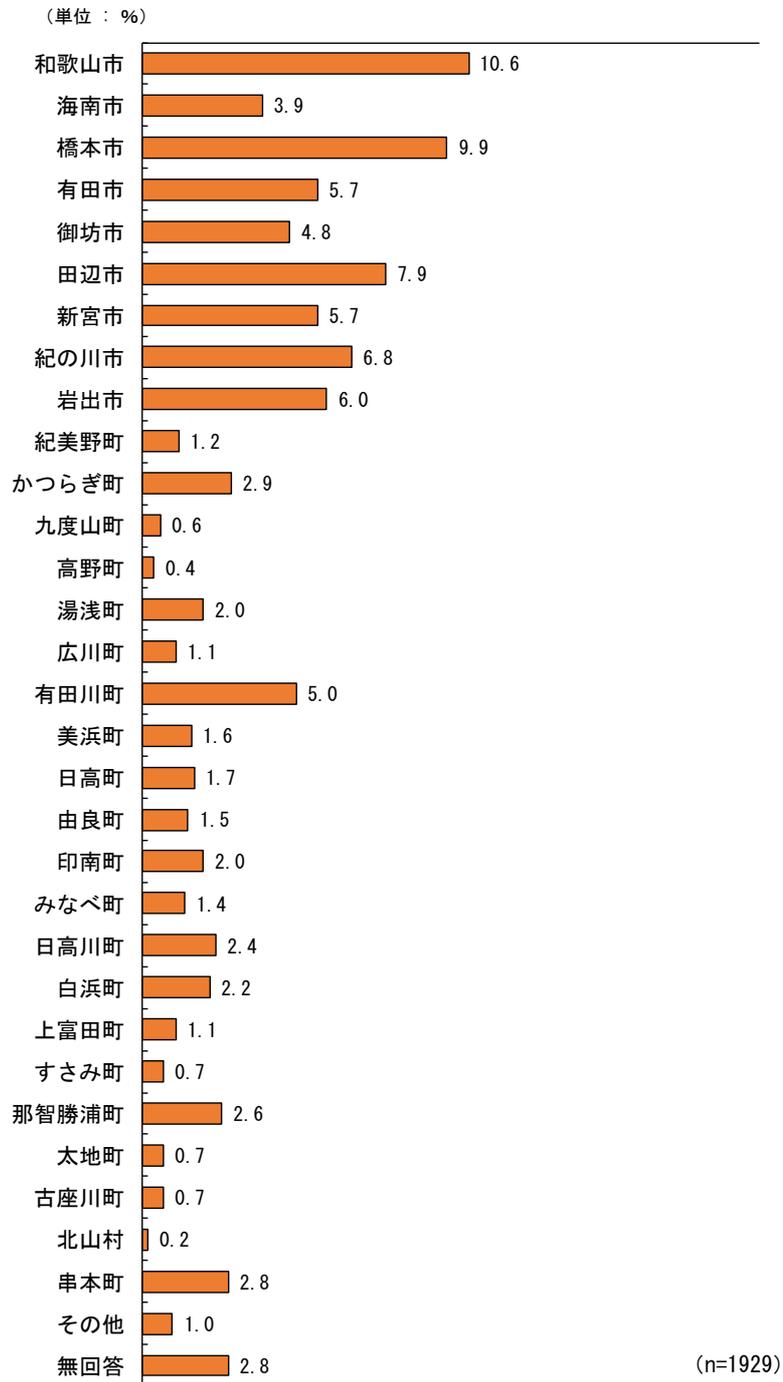
### ④ 住まい（単一回答）

図表 1-4 住まい（保健医療圏別）



(\* 県外の市町村名を記載する回答者が複数見られた)

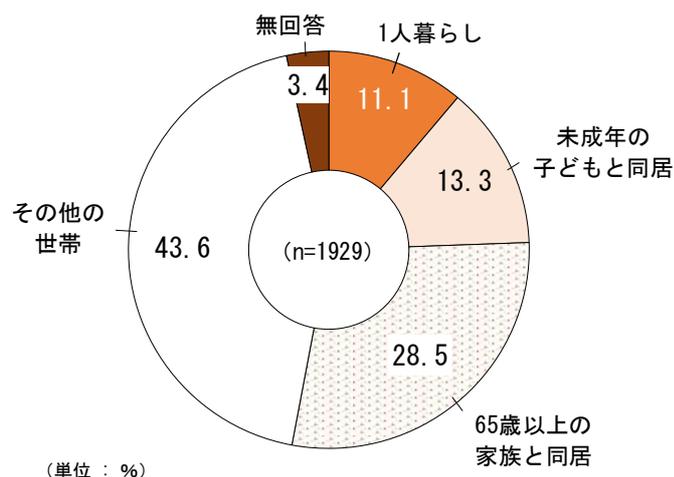
図表 1-5 住まい（市町村別）



⑤ 世帯構成（単一回答）

○「65歳以上の家族と同居」が28.5%、「未成年の子どもと同居」が13.3%、「1人暮らし」が11.1%

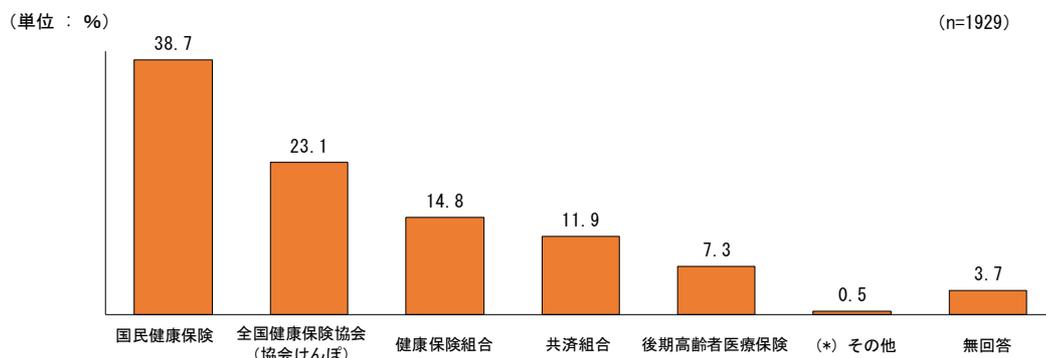
図表 1-6 世帯構成



⑥ 加入している医療保険（単一回答）

○「国民健康保険」が38.7%で最も多く、「全国健康保険協会（協会けんぽ）」(23.1%)「健康保険組合」(14.8%)が後に続く

図表 1-7 加入している医療保険



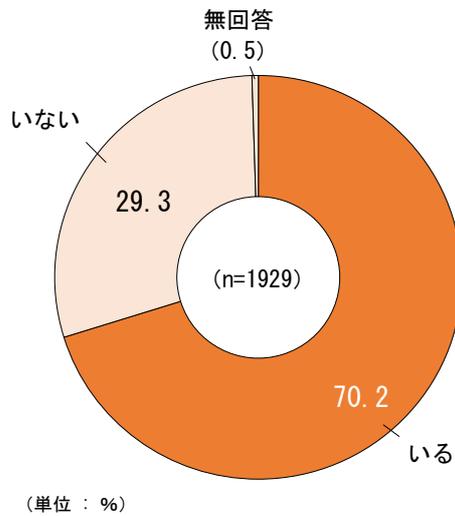
(\* 民間の医療保険名を記載する回答者が複数見られた)

## 2. かかりつけ医

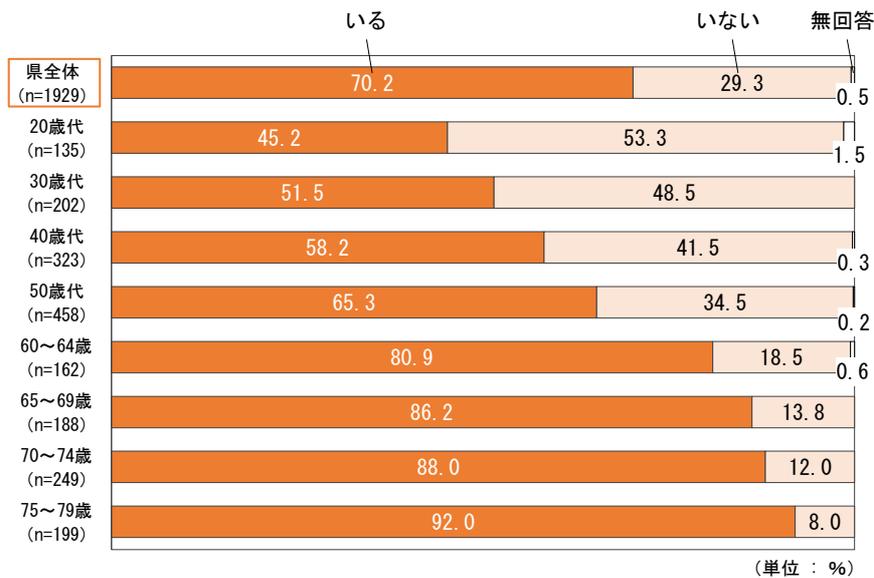
### ① - (1) かかりつけの医師の有無（単一回答）

- 「いる」が70.2%を占める
- 年齢別では20歳代で「いる」は45.2%だが、60～64歳では80.9%、75～79歳では92.0%。年齢層が高くなるにつれて、「いる」の回答割合は上昇

図表 2-1 かかりつけの医師の有無



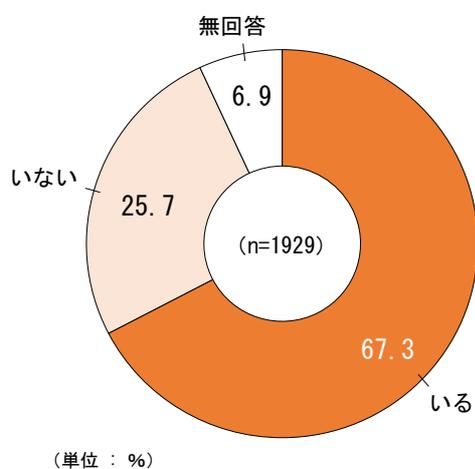
図表 2-2 かかりつけの医師の有無（年齢別）



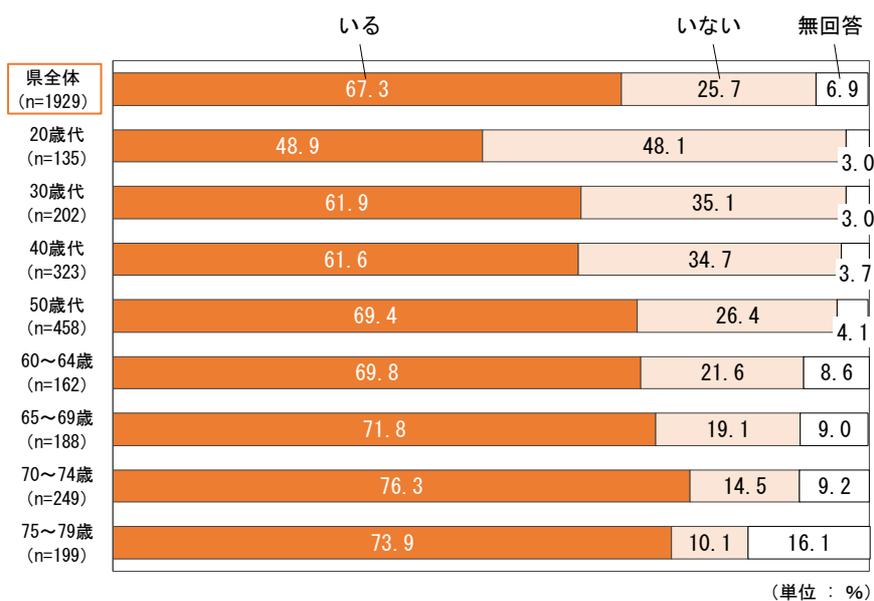
① - (2) かかりつけの歯科医師の有無（単一回答）

- 「いる」が67.3%を占める
- 「かかりつけの医師がいる」割合と比較すると、若年層ではかかりつけの歯科医師がいる割合の方が高く、高年層ではかかりつけの歯科医師がいる割合の方が低い

図表 2-3 かかりつけの歯科医師の有無



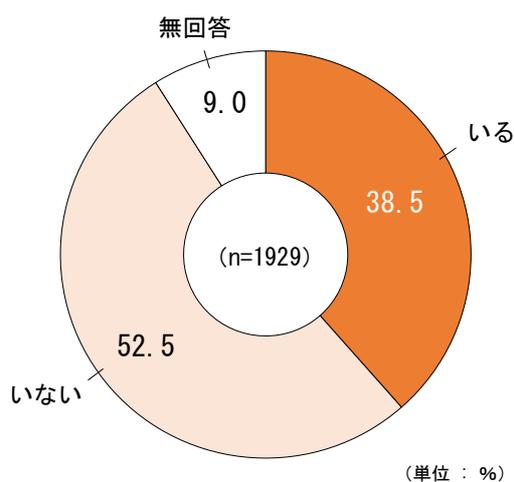
図表 2-4 かかりつけの歯科医師の有無（年齢別）



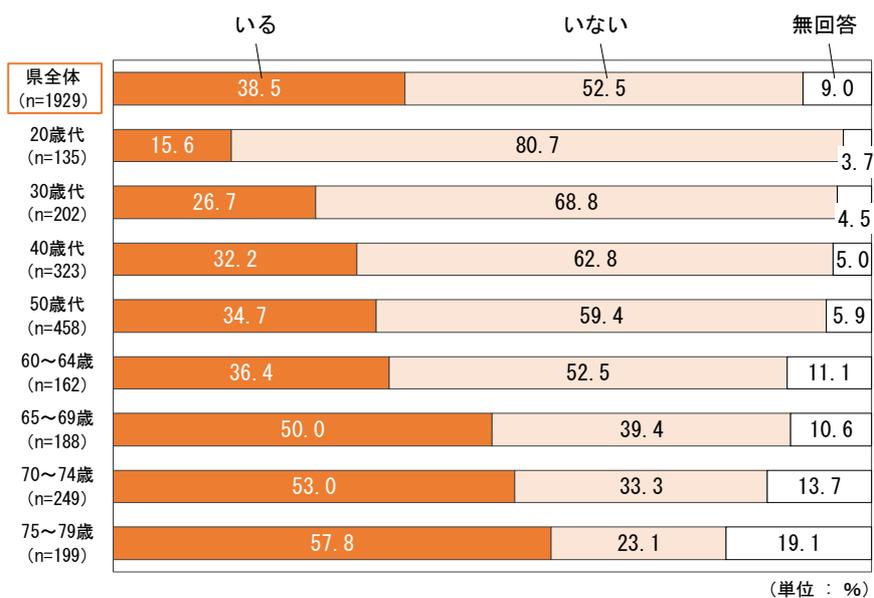
① - (3) かかりつけの薬局・薬剤師の有無（単一回答）

- 「いる」は38.5%で、「いない」が52.5%と過半数を占める
- 年齢別では20歳代で「いる」は15.6%だが、65～69歳では50.0%、75～79歳では57.8%。年齢層が高くなるにつれて、「いる」の回答割合は上昇

図表 2-5 かかりつけの薬局・薬剤師の有無



図表 2-6 かかりつけの薬局・薬剤師の有無（年齢別）

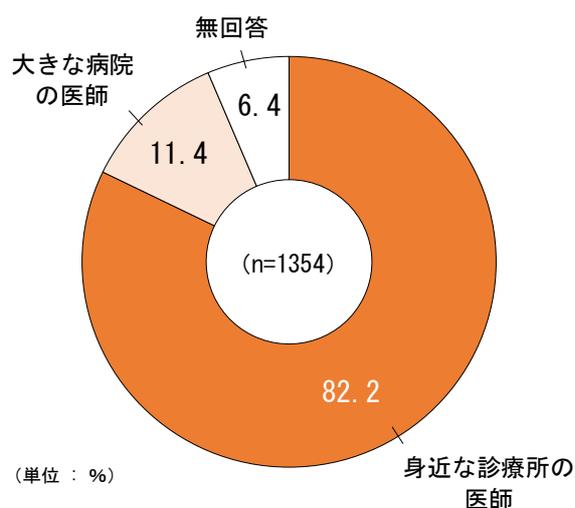


## ② かかりつけ医は誰か（単一回答）

（\*）かかりつけの医師が「いる」とした回答者のみ集計

○「身近な診療所の医師」が 82.2% を占める

図表 2-7 かかりつけ医は誰か

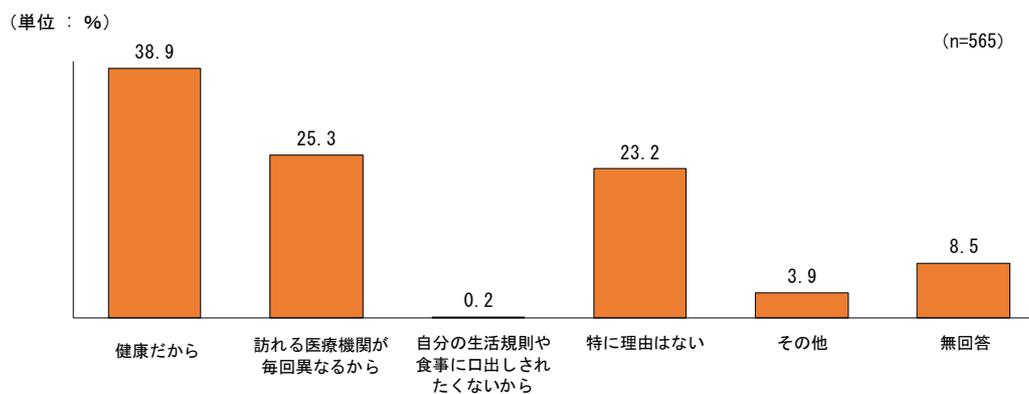


## ③ かかりつけ医を決めていない理由（単一回答）

（\*）かかりつけの医師が「いない」とした回答者のみ集計

○「健康だから」が 38.9% で最も多く、「訪れる医療機関が毎回異なるから」(25.3%)、「特に理由はない」(23.2%) が後に続く

図表 2-8 かかりつけ医を決めていない理由

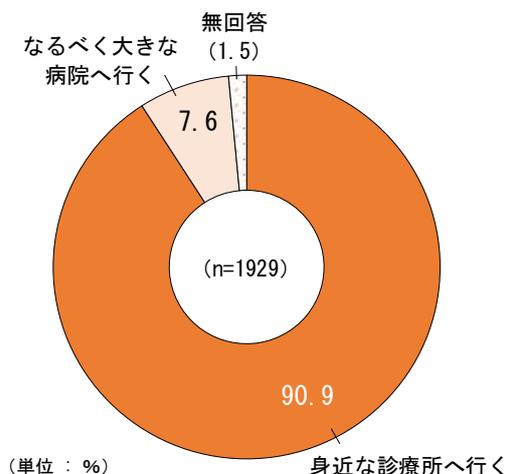


### 3. 医療機関の受診

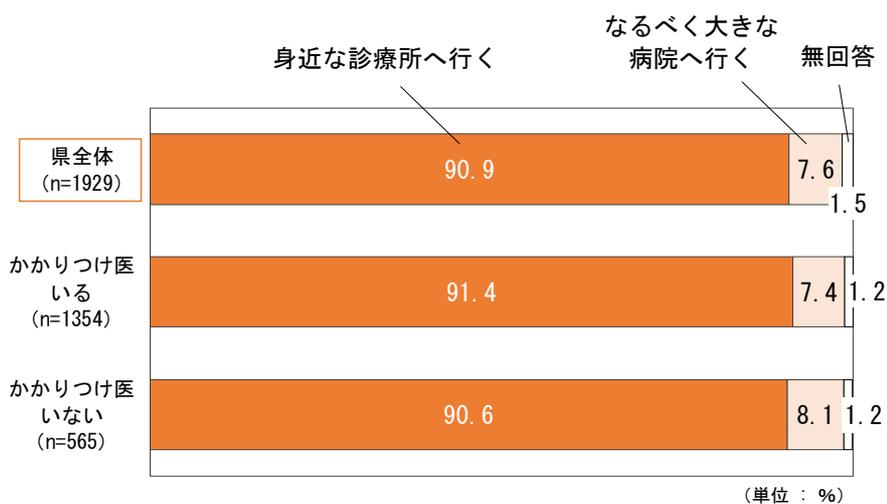
#### ① 少し体調が悪い時に診察を希望する医療機関（単一回答）

- 「身近な診療所へ行く」が90.9%を占める
- かかりつけ医がない場合でも、「身近な診療所へ行く」が90.6%を占める

図表 3-1 少し体調が悪い時に診察を希望する医療機関



図表 3-2 少し体調が悪い時に診察を希望する医療機関（かかりつけ医の有無別）

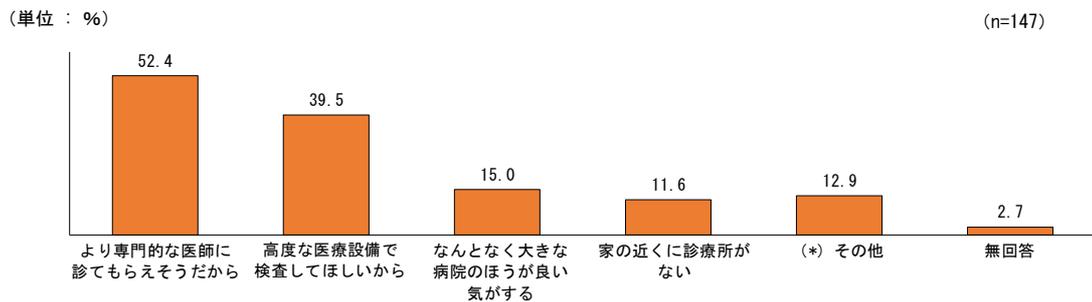


② 少し体調が悪い時に大きな病院で診てもらいたい理由（複数回答[最大2つまで]

(\*) 「なるべく大きな病院へ行く」とした回答者のみ集計

○ 「より専門的な医師に診てもらえそうだから」が 52.4%で最も多く、「高度な医療設備で検査してほしいから」(39.5%) が後に続く

図表 3-3 少し体調が悪い時に大きな病院で診てもらいたい理由



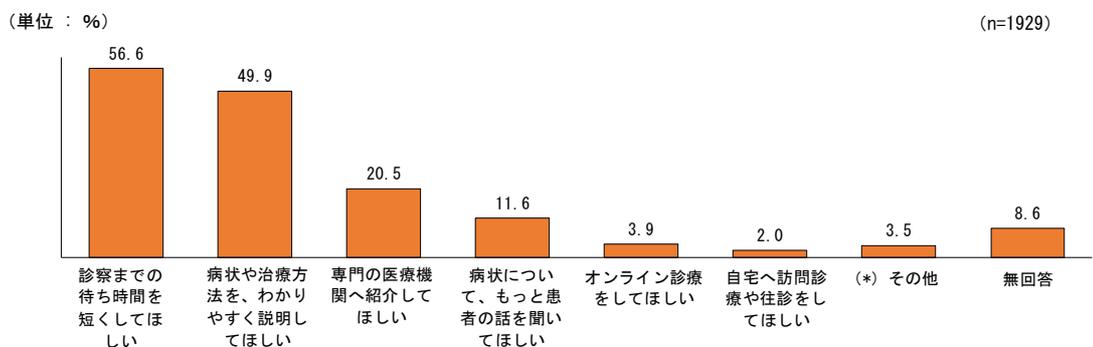
(\*) 「その他」の具体的な記述内容

- ・ かかりつけ医がいるから
- ・ 異なる科を受診できるから
- ・ 結局大きな病院を紹介されるから

③ 病気の診察や治療で望むこと（複数回答[最大2つまで]

○ 「診察までの待ち時間を短くしてほしい」が 56.6%で最も多く、「病状や治療方法を、わかりやすく説明してほしい」(49.9%) が後に続く

図表 3-4 病気の診察や治療で望むこと



(\*) 「その他」の具体的な記述内容

- ・ 予約時間を守ってほしい
- ・ 当日診てもらえない病院が多い（特に小児科）
- ・ 診察時間をウェブ上で公開してほしい
- ・ 土日診療

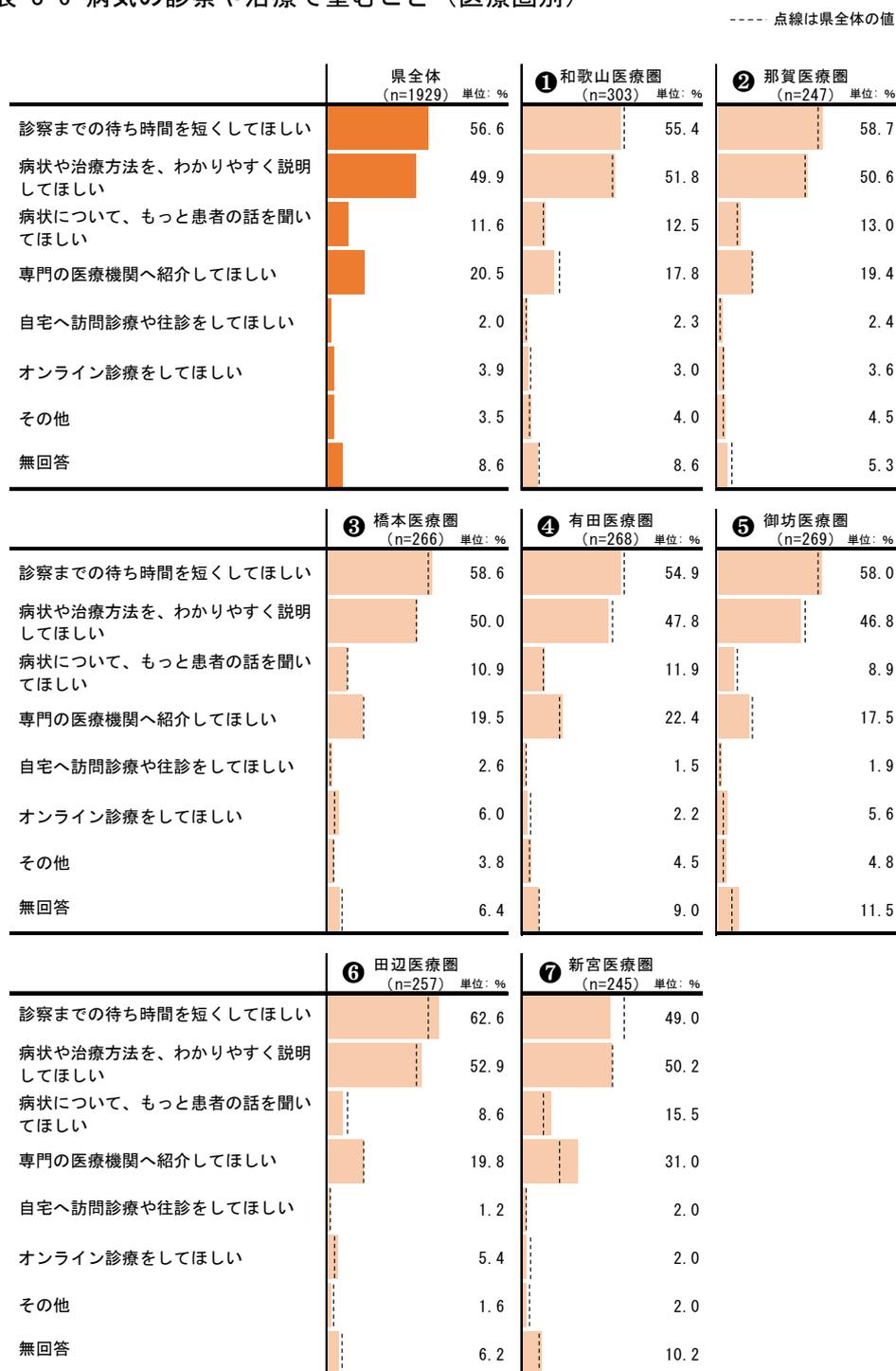
- いずれの年齢層においても「診察までの待ち時間を短くしてほしい」が最も多い
- 「診察までの待ち時間を短くしてほしい」は、20～40歳代で比較的多い
- 「病状や治療方法を、わかりやすく説明してほしい」は、30歳代で62.4%と比較的多い

図表 3-5 病気の診察や治療で望むこと（年齢別）



- いずれの医療圏においても「診察までの待ち時間を短くしてほしい」が最も多い
- 「診察までの待ち時間を短くしてほしい」は、田辺医療圏で比較的多い
- 「専門の医療機関へ紹介してほしい」は、新宮医療圏で比較的多い

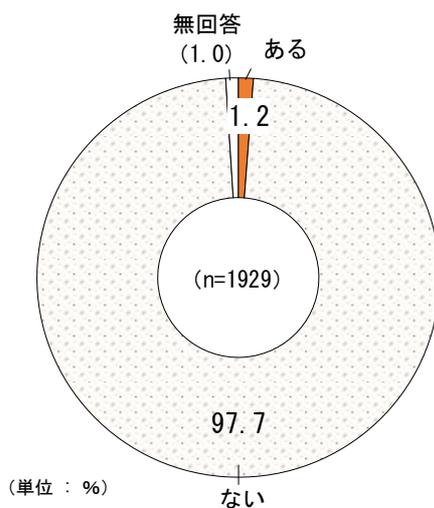
図表 3-6 病気の診察や治療で望むこと（医療圏別）



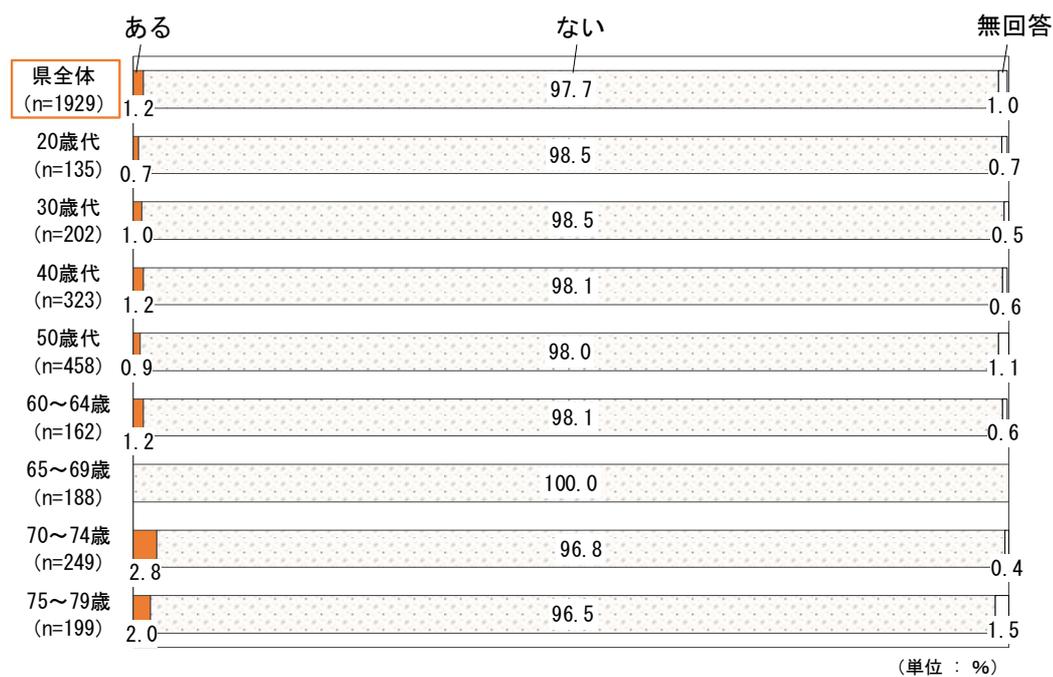
④ 訪問診療や往診を受けたことはあるか（単一回答）

- 「ある」は1.2%
- いずれの年齢層においても、「ある」は少なく、70～74歳で2.8%、75～79歳においても2.0%にとどまる

図表 3-7 訪問診療や往診を受けたことはあるか



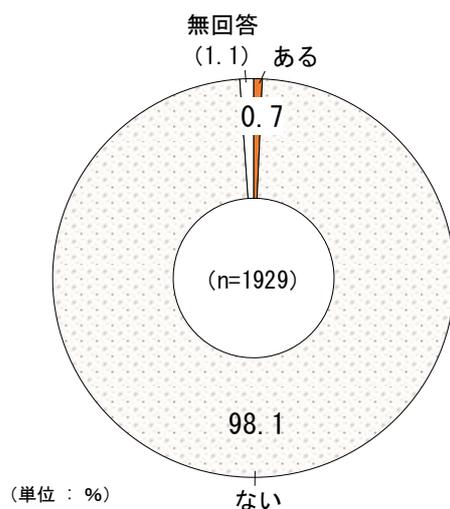
図表 3-8 訪問診療や往診を受けたことはあるか（年齢別）



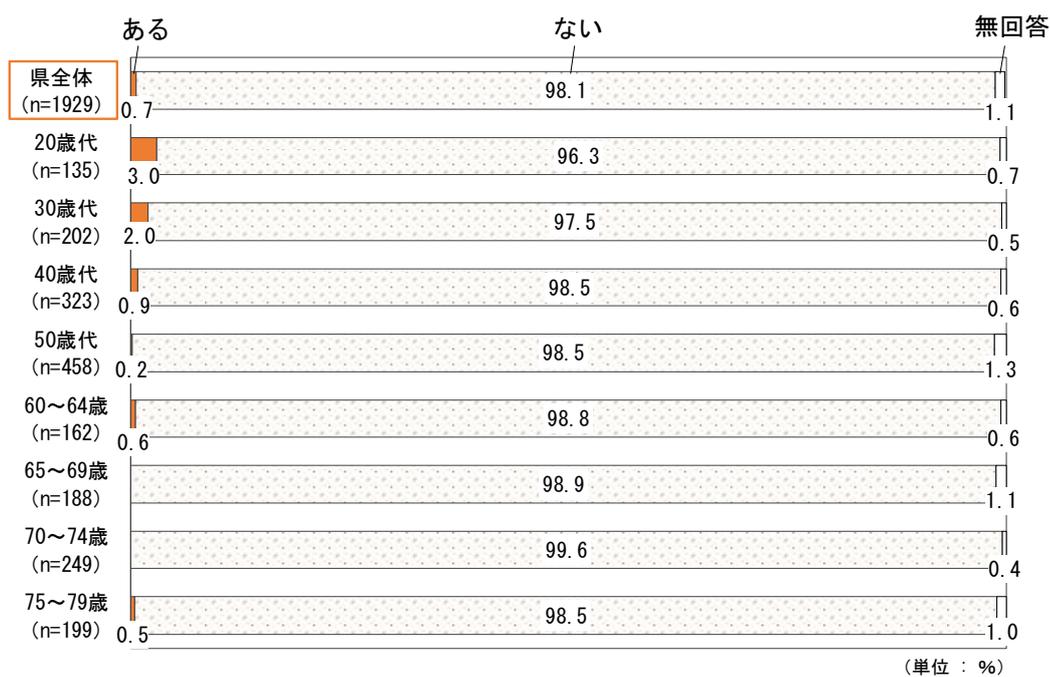
⑤ オンライン診療を受けたことはあるか（単一回答）

- 「ある」は0.7%
- いずれの年齢層においても、「ある」は少なく、20歳代で3.0%、30歳代でも2.0%にとどまる

図表 3-9 オンライン診療を受けたことはあるか



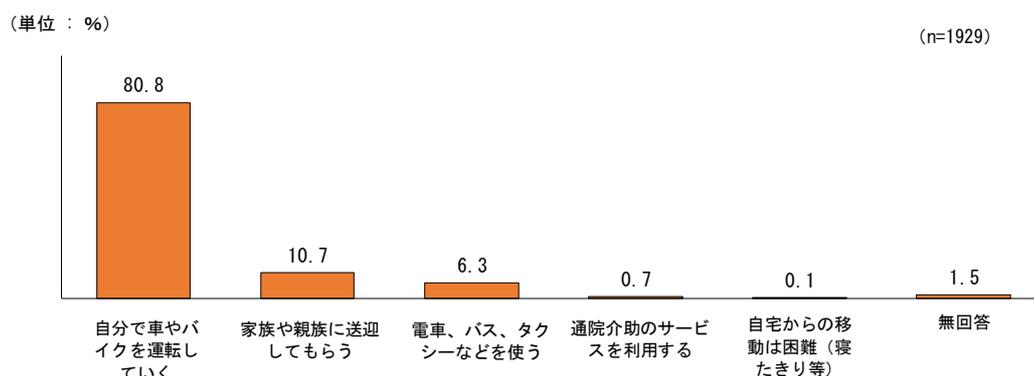
図表 3-10 オンライン診療を受けたことはあるか（年齢別）



⑥ 少し離れた医療機関に通院する際に使う主な移動手段（単一回答）

- 「自分で車やバイクを運転していく」が 80.8%で最も多く、「家族や親族に送迎してもらおう」は 10.7%
- 年齢別では、65 歳以上の年齢層において「自分で車やバイクを運転していく」が比較的少なく、「家族や親族に送迎してもらおう」が比較的多い

図表 3-11 少し離れた医療機関に通院する際に使う主な移動手段



図表 3-12 少し離れた医療機関に通院する際に使う主な移動手段（年齢別）

----- 点線は県全体の値

	県全体 (n=1929) 単位：%	① 20歳代 (n=135) 単位：%	② 30歳代 (n=202) 単位：%
自分で車やバイクを運転していく	80.8	68.1	82.7
家族や親族に送迎してもらおう	10.7	20.7	10.9
電車、バス、タクシーなどを使う	6.3	9.6	4.5
通院介助のサービスを利用する	0.7	0.0	0.5
自宅からの移動は困難（寝たきり等）	0.1	0.0	0.0
無回答	1.5	1.5	1.5

	③ 40歳代 (n=323) 単位：%	④ 50歳代 (n=458) 単位：%	⑤ 60～64歳 (n=162) 単位：%
自分で車やバイクを運転していく	89.5	89.1	85.2
家族や親族に送迎してもらおう	5.3	4.6	8.6
電車、バス、タクシーなどを使う	3.7	4.8	6.2
通院介助のサービスを利用する	0.6	0.4	0.0
自宅からの移動は困難（寝たきり等）	0.0	0.0	0.0
無回答	0.9	1.1	0.0

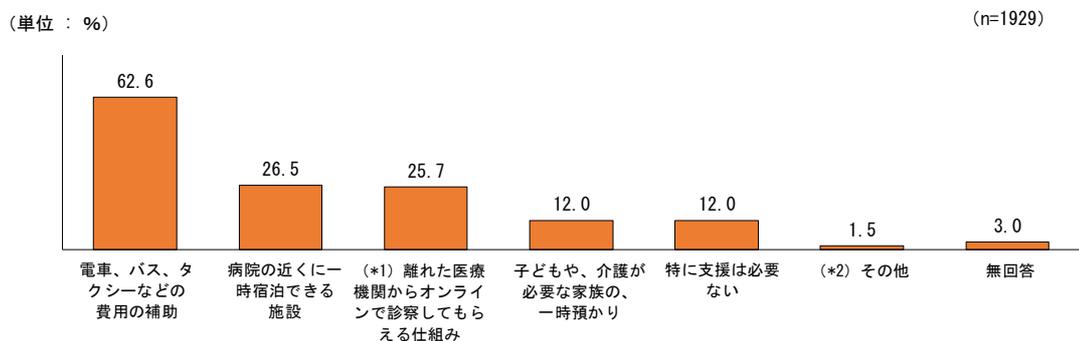
  

	⑥ 65～69歳 (n=188) 単位：%	⑦ 70～74歳 (n=249) 単位：%	⑧ 75～79歳 (n=199) 単位：%
自分で車やバイクを運転していく	77.7	73.5	63.8
家族や親族に送迎してもらおう	13.3	14.9	20.6
電車、バス、タクシーなどを使う	7.4	7.6	11.6
通院介助のサービスを利用する	0.5	2.0	0.5
自宅からの移動は困難（寝たきり等）	0.0	0.0	0.5
無回答	1.1	2.0	3.0

⑦ 50 キロほど離れた医療機関でしか診察・治療ができない場合に、そこへ通院するために必要な支援（複数回答）

○「電車、バス、タクシーなどの費用の補助」が62.6%で最も多く、「病院の近くに一泊宿泊できる施設」（26.5%）、「普段は家の近くの医療機関で検査を受け、離れた医療機関からオンラインで診察してもらえる仕組み」（25.7%）が後に続く

図表 3-13 50 キロほど離れた医療機関でしか診察・治療ができない場合に、そこへ通院するために必要な支援



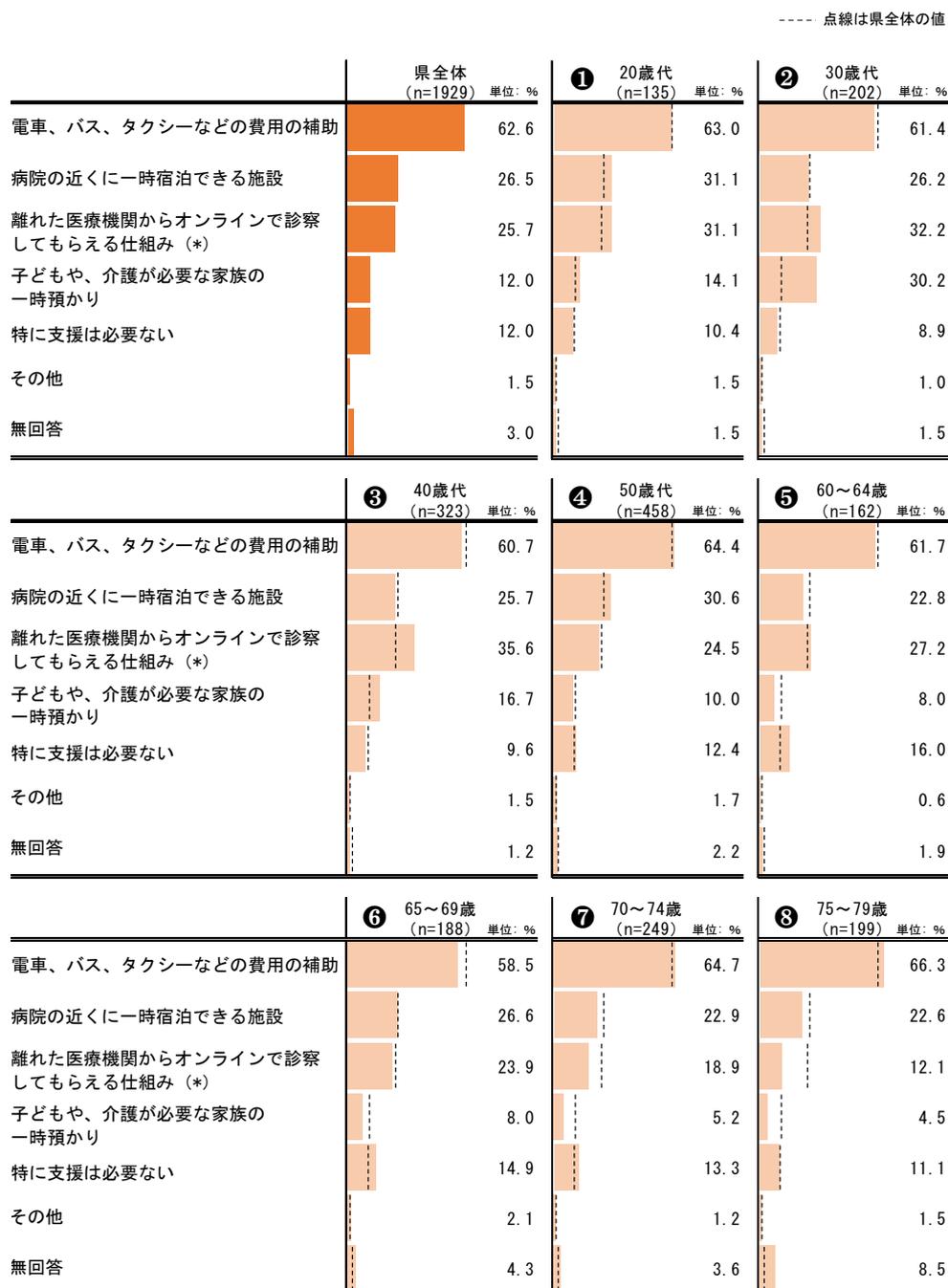
(\*1) 「普段は家の近くの医療機関で検査を受け、離れた医療機関からオンラインで診察してもらえる仕組み」を略記

(\*2) 「その他」の具体的な記述内容

- ・ 高速料金の補助
- ・ ガソリン代の補助
- ・ ペットを預かってもらえる場所が欲しい
- ・ 診察バスなどの移動診療車があれば 等

- 「子どもや、介護が必要な家族の一時預かり」は、30歳代で30.2%と比較的高い
- 「普段は家の近くの医療機関で検査を受け、離れた医療機関からオンラインで診察してもらえる仕組み」は、20歳代、30歳代、40歳代で比較的高い

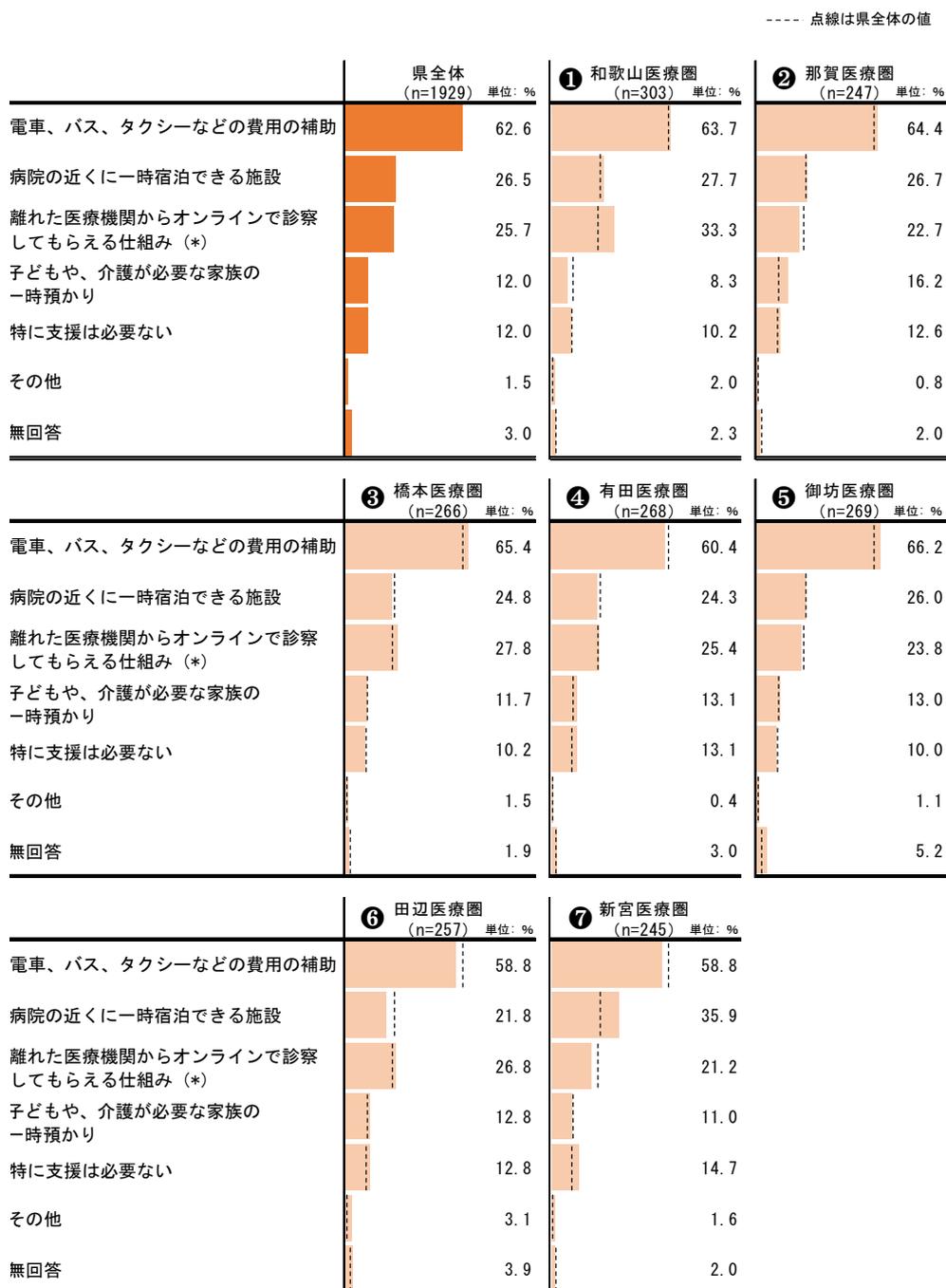
図表 3-14 50キロほど離れた医療機関でしか診察・治療ができない場合に、そこへ通院するために必要な支援（年齢別）



(\*)「普段は家の近くの医療機関で検査を受け、離れた医療機関からオンラインで診察してもらえる仕組み」を略記

○「病院の近くに一時宿泊できる施設」は、新宮医療圏で35.9%と比較的高い

図表 3-15 50キロほど離れた医療機関でしか診察・治療ができない場合に、そこへ通院するために必要な支援（医療圏別）

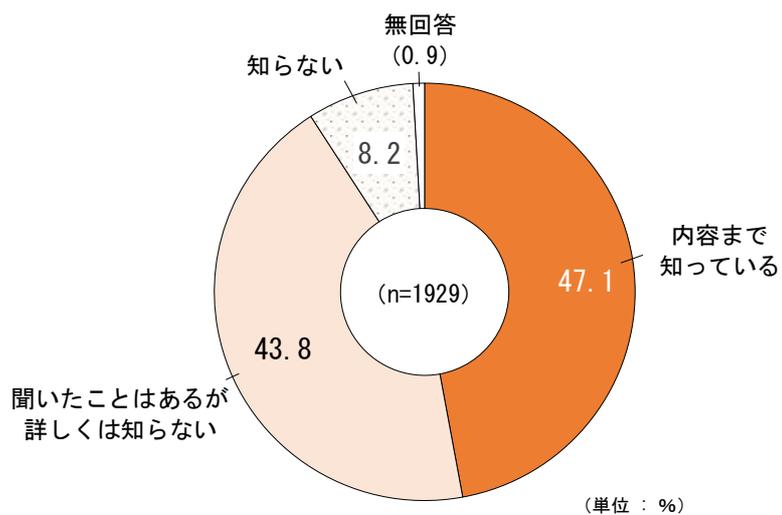


(\*)「普段は家の近くの医療機関で検査を受け、離れた医療機関からオンラインで診察してもらえる仕組み」を略記

⑧ 「セカンド・オピニオン」という言葉の認知度（単一回答）

○「内容まで知っている」が 47.1%で最も多いが、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」も 43.8%と多い

図表 3-16 「セカンド・オピニオン」という言葉の認知度

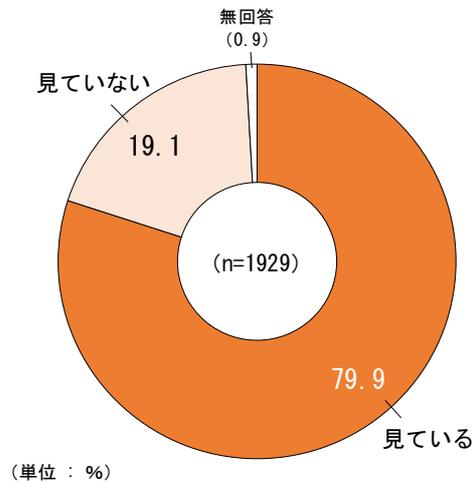


#### 4. 自分の医療費

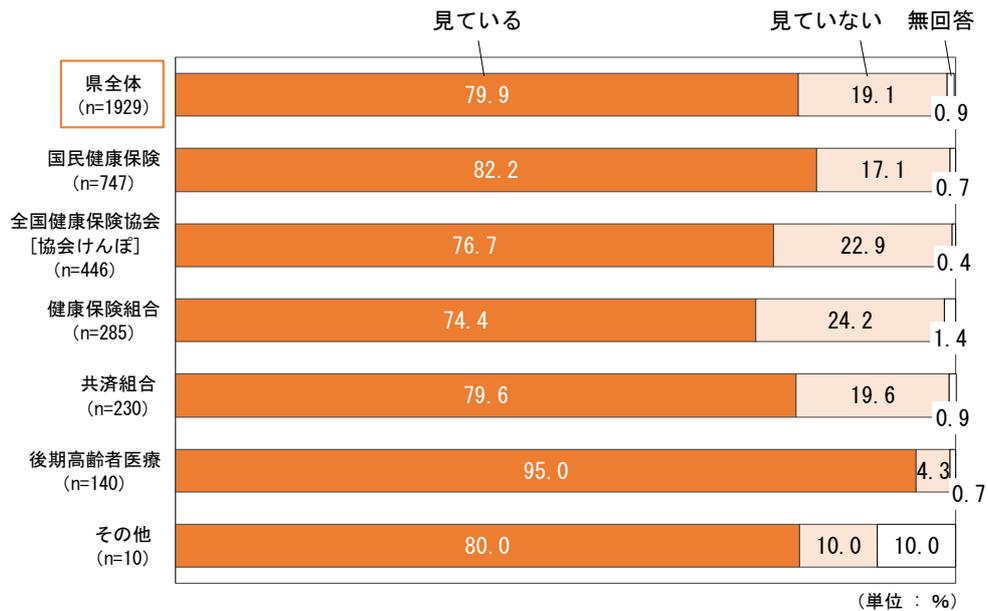
##### ① 医療費通知の内容を見ているか（単一回答）

- 「見ている」が79.9%と約8割を占めた
- 加入している医療保険別に見た場合、「見ている」との回答割合は「後期高齢者医療」加入者で95.0%と高く、「健康保険組合」加入者では74.4%と比較的低い

図表 4-1 医療費通知の内容を見ているか



図表 4-2 医療費通知の内容を見ているか（医療保険別）

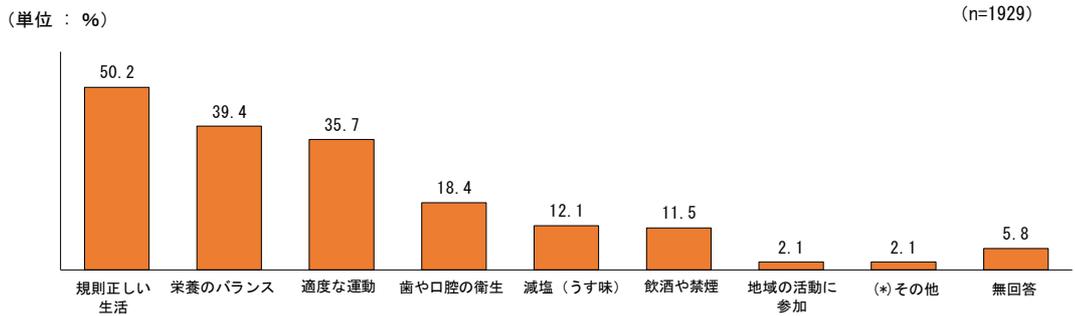


## 5. 健康づくり・健康診断

### ① 健康のために気をつけていること（複数回答[最大2つまで]）

○「規則正しい生活」が50.2%で最も多く、「栄養のバランス」(39.4%)、「適度な運動」(35.7%)が後に続く

図表 5-1 健康のために気をつけていること



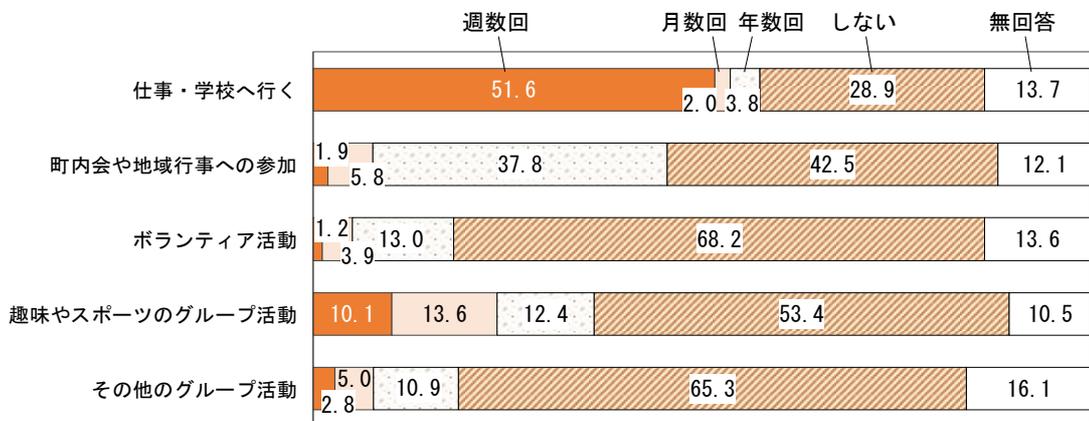
(\*)「その他」の具体的な記述内容

- ・サプリメント摂取
- ・精神衛生、ストレス発散、いつも笑顔
- ・食事は野菜から食べる
- ・睡眠
- 等

### ② 社会活動やグループ活動への参加頻度（単一回答）

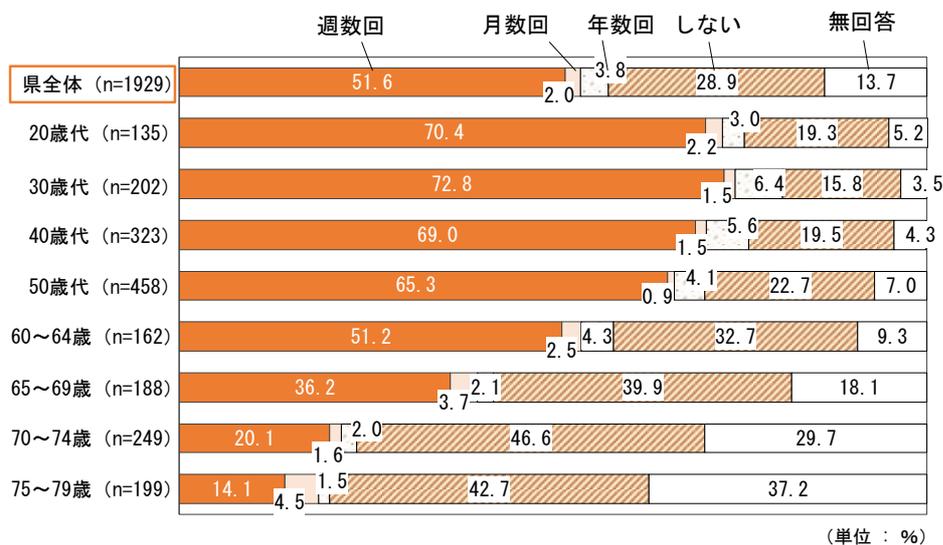
○「週数回」「月数回」を合わせた回答割合を見ると、仕事・学校で53.6%と最も多いものの、その他の項目では非常に少ない

図表 5-2 社会活動やグループ活動への参加頻度



○「仕事・学校へ行く」の回答を年齢別に見た場合、70～74歳でも「週数回」は20.1%、と5人に1人が就労・就学している

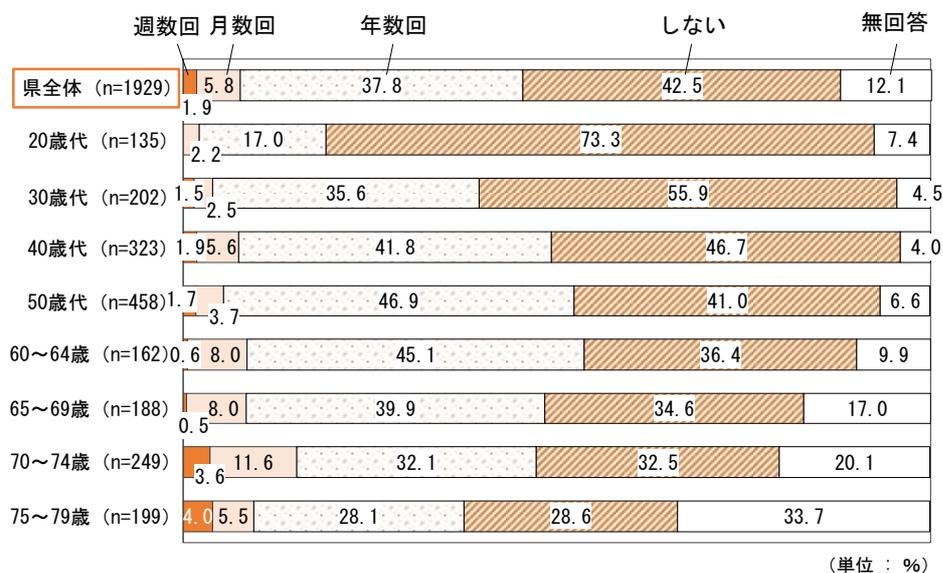
図表 5-3 社会活動やグループ活動への参加頻度 [仕事・学校] (年齢別)



○「町内会や地域行事への参加」の回答を年齢別に見た場合、「しない」は20歳代で73.3%と非常に高い

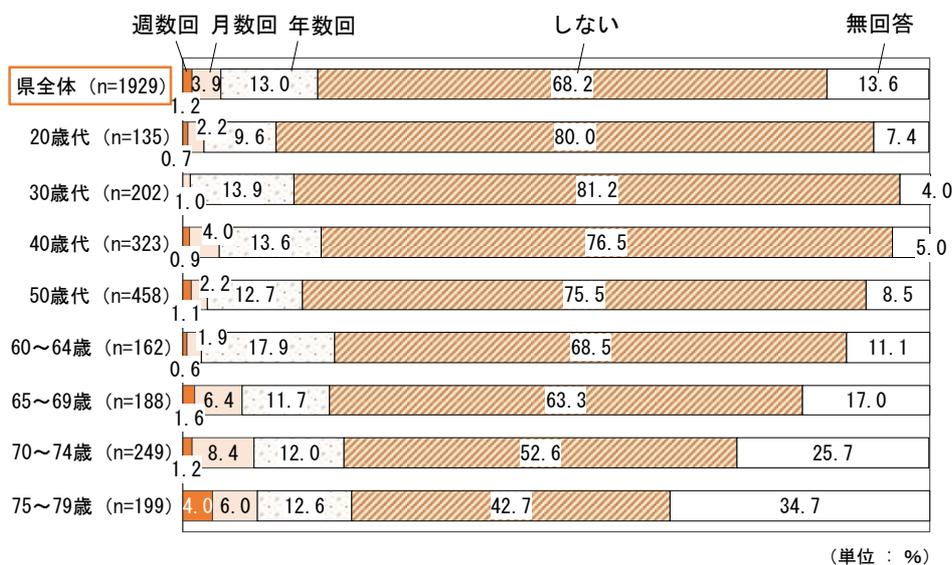
○「週数回」「月数回」を合わせた回答割合は、60歳以上で比較的高い

図表 5-4 社会活動やグループ活動への参加頻度 [町内会・地域行事] (年齢別)



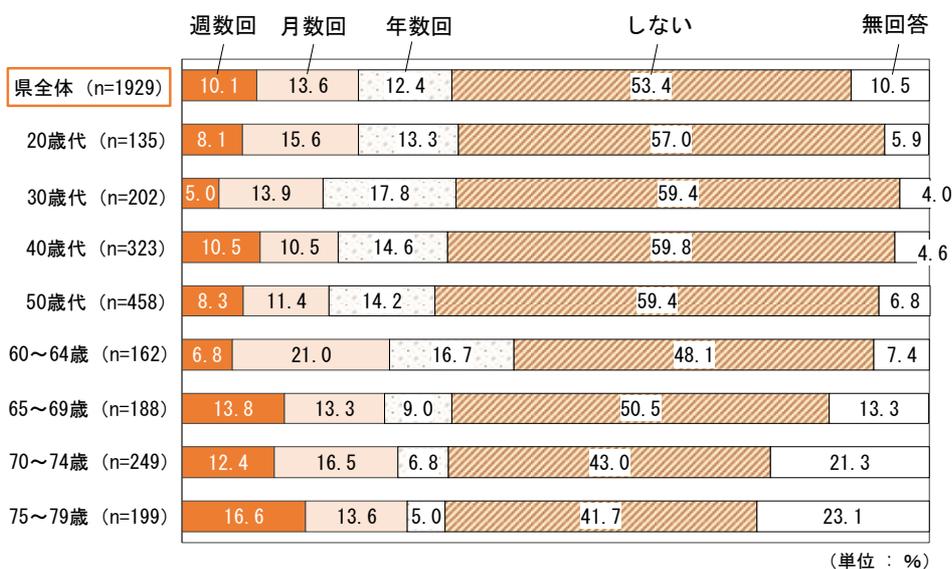
○「ボランティア活動」の回答を年齢別に見た場合、若年層では「しない」が8割を超える一方、65歳以上では、「月数回」「週数回」の回答割合が比較的高い

図表 5-5 社会活動やグループ活動への参加頻度 [ボランティア活動] (年齢別)



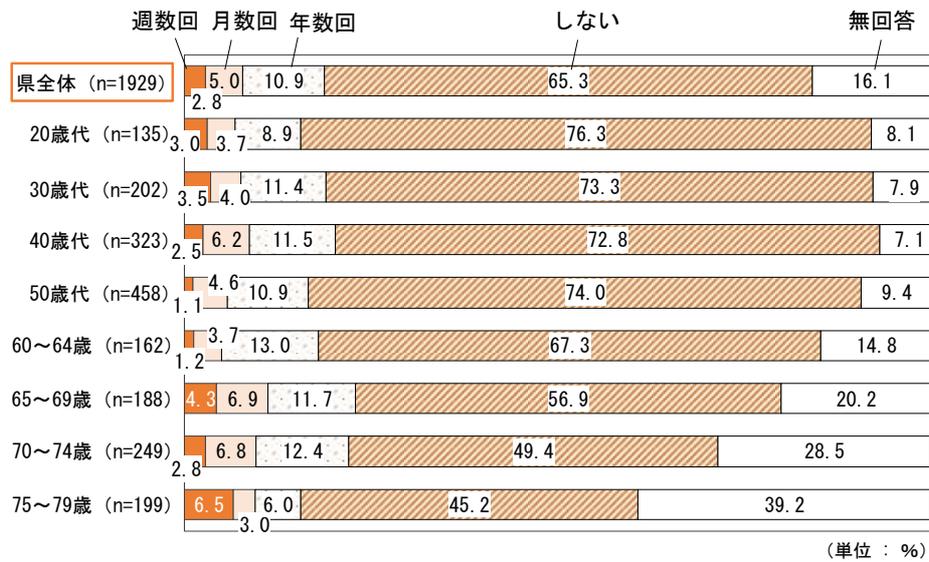
○「趣味やスポーツ等のグループ活動」の回答を年齢別に見た場合、「週数回」「月数回」を合わせた回答割合は、30~50歳代で比較的低くなっている

図表 5-6 社会活動やグループ活動への参加頻度 [趣味・スポーツ等のグループ活動] (年齢別)



○「その他のグループ活動」の回答を年齢別に見た場合、「週数回」「月数回」を合わせた回答割合は、65歳以上で比較的高い

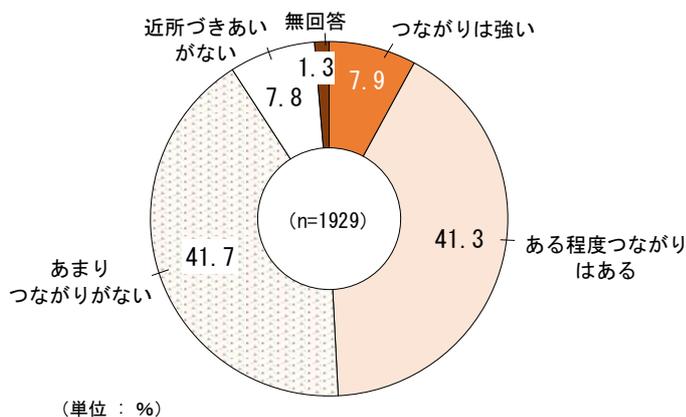
図表 5-7 社会活動やグループ活動への参加頻度〔その他のグループ活動〕（年齢別）



### ③ 地域の人たちとのつながり（単一回答）

○ 「ある程度つながりはある」と「あまりつながりがない」が約4割でほぼ同数

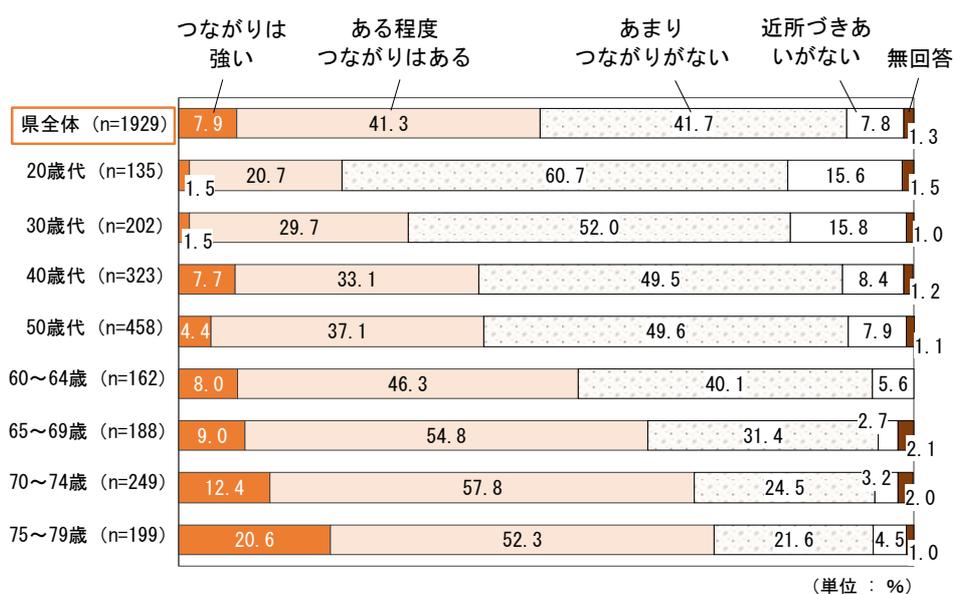
図表 5-8 地域の人たちとのつながり



○ 年齢別に見た場合、「つながりは強い」「ある程度つながりはある」との回答は、年齢層が高くなるにつれて多くなる傾向が見られる

○ 「近所づきあいがない」は20歳代、30歳代で回答割合が比較的高い

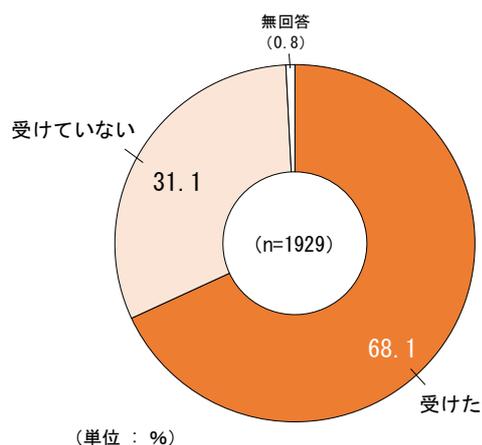
図表 5-9 地域の人たちとのつながり（年齢別）



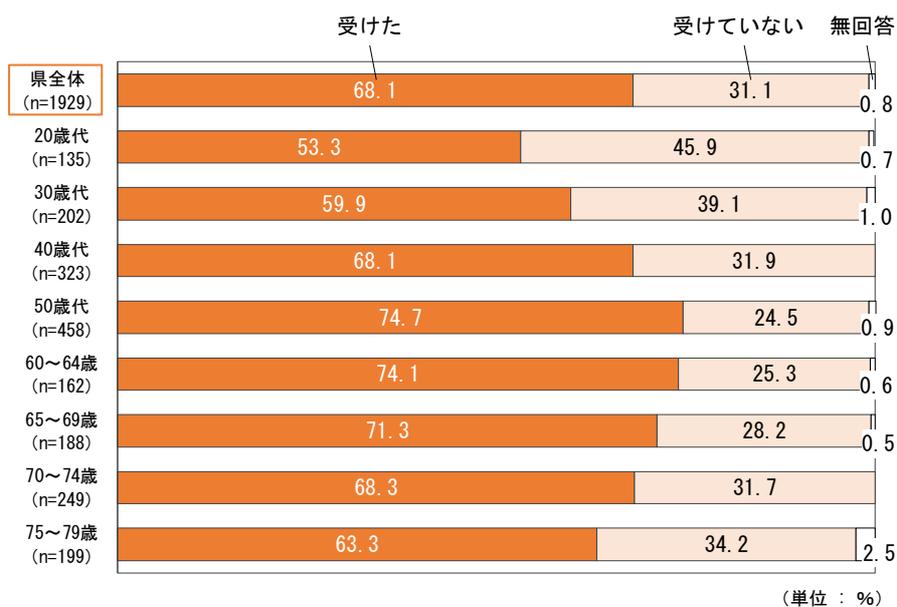
④ 過去1年以内に健康診断や人間ドックを受診したか（単一回答）

- 「受けた」が68.1%にとどまり、31.1%は「受けていない」
- 年齢別に見た場合、20歳代、30歳代、70歳代で「受けていない」が比較的高い

図表 5-10 過去1年以内に健康診断や人間ドックを受診したか

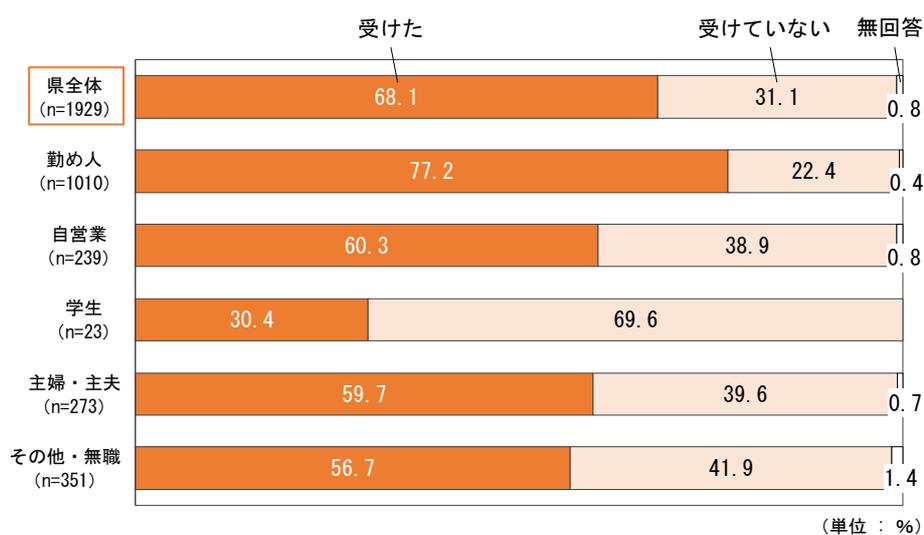


図表 5-11 過去1年以内に健康診断や人間ドックを受診したか（年齢別）

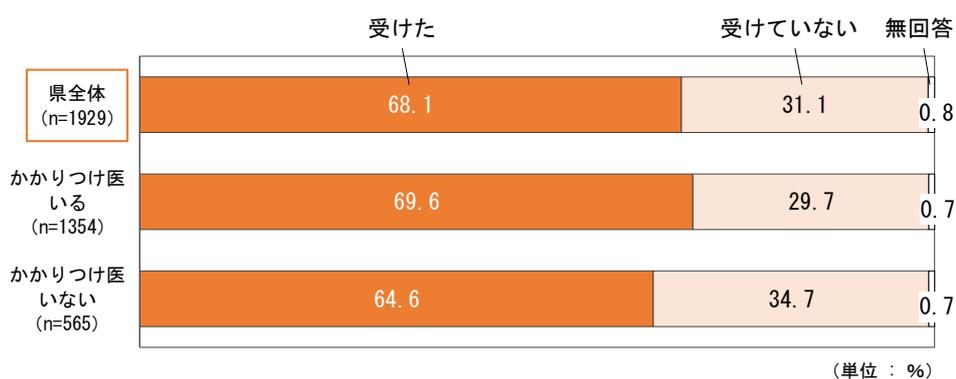


- 職業別に見た場合、「受けた」との回答割合は勤め人で77.2%と最も高く、自営業(60.3%)、主婦・主夫(59.7%)が後に続き、学生は30.4%で最も低い
- かかりつけ医の有無別で見した場合、「受けた」との回答割合に大きな違いは見られない

図表 5-12 過去1年以内に健康診断や人間ドックを受診したか（職業別）



図表 5-13 過去1年以内に健康診断や人間ドックを受診したか（かかりつけ医の有無別）

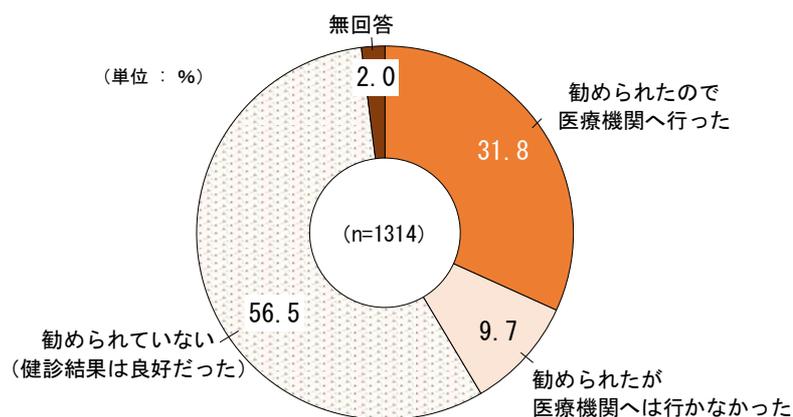


⑤ 健診後に医療機関を受診するよう勧められたか（単一回答）

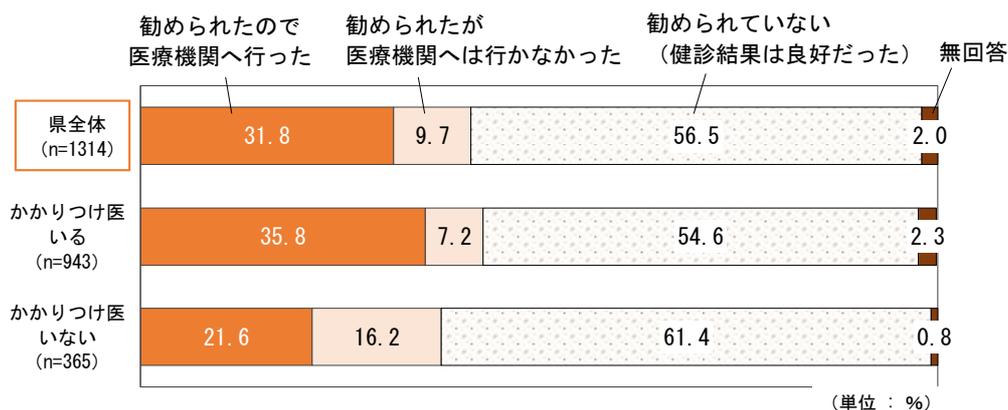
(\*) 過去1年以内に健康診断や人間ドックを「受けた」とした回答者のみ集計

○ かかりつけ医の有無別に見た場合、「勧められたが医療機関へは行かなかった」との回答割合が、かかりつけ医がない場合で比較的高くなっている

図表 5-14 健診後に医療機関を受診するよう勧められたか



図表 5-15 健診後に医療機関を受診するよう勧められたか（かかりつけ医の有無別）

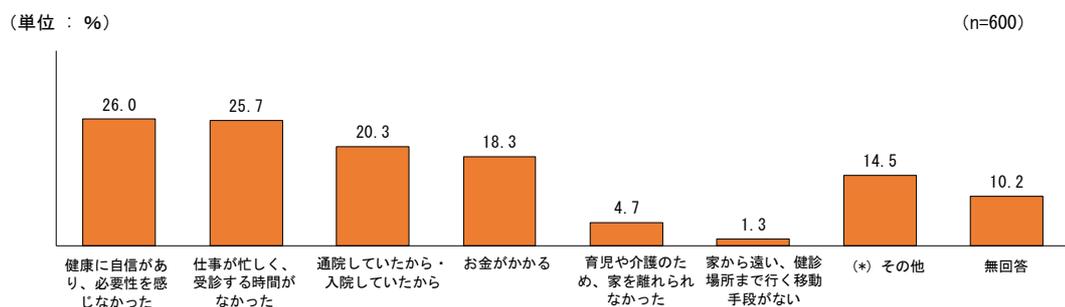


## ⑥ 健診を受けなかった理由（複数回答[最大2つまで]）

(\*) 過去1年以内に健康診断や人間ドックを「受けていない」とした回答者のみ集計

○「健康に自信があり、必要性を感じなかった」が26.0%で最も多いが、「仕事が忙しく、受診する時間がなかった」(25.7%)もほぼ同数となっており、「通院していたから・入院していたから」(20.3%)、「お金がかかる」(18.3%)が後に続く

図表 5-16 健診を受けなかった理由

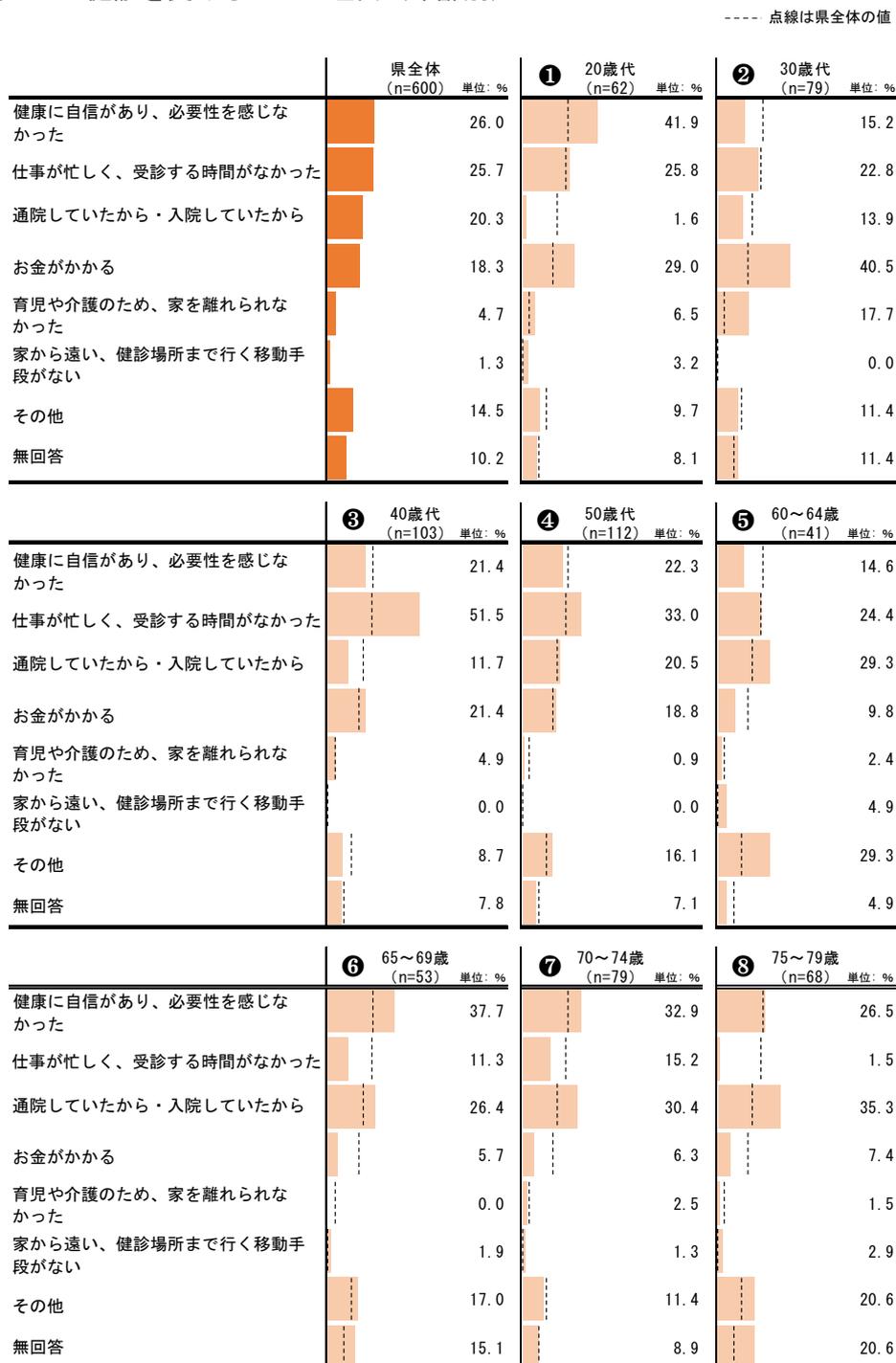


### (\*) 「その他」の具体的な記述内容

- ・コロナ禍で健診を控えた
- ・自営業になり、受けられる場所がわからなかった
- ・健康診断を受ける方法がわからない
- ・面倒だった

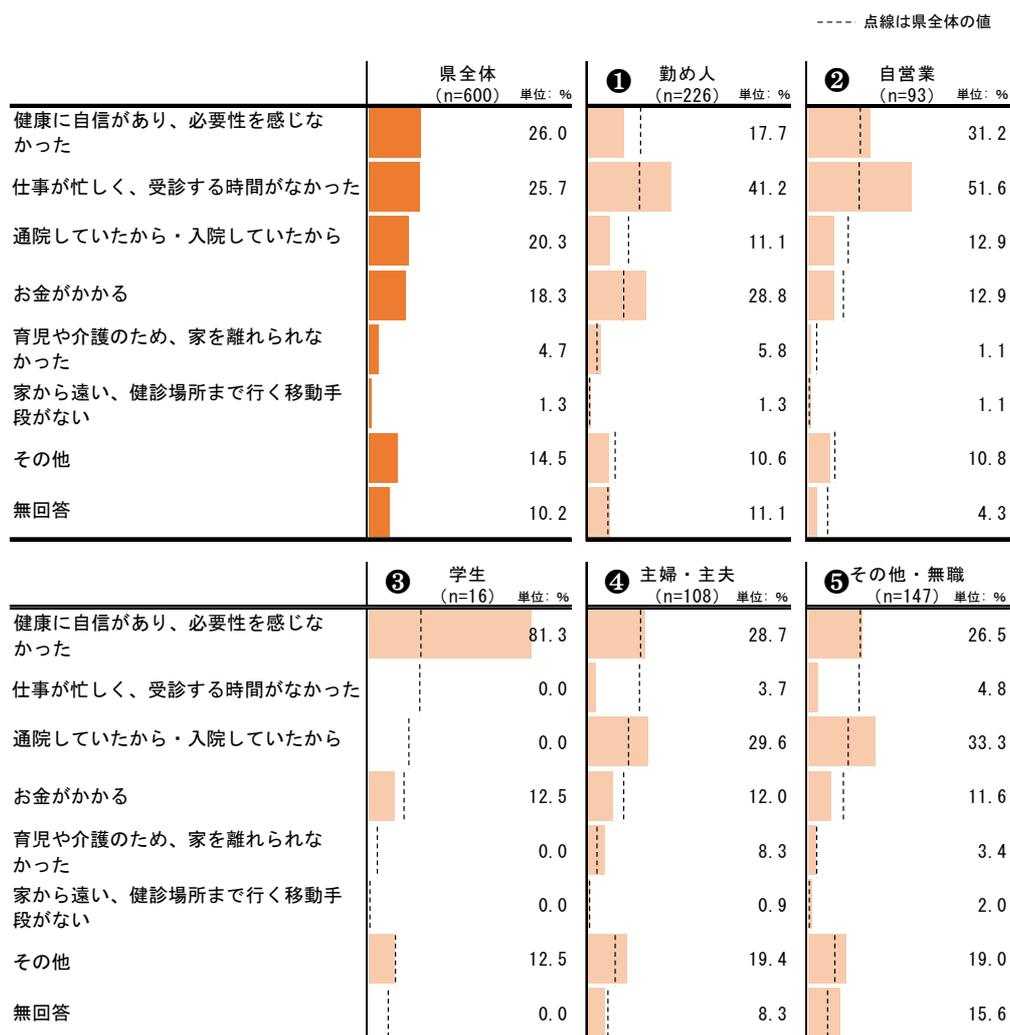
- 年齢別に見た場合、30歳代では「お金がかかる」「育児や介護のため、家を離れられなかった」が比較的多い。40歳代・50歳代では「仕事が忙しく、受診する時間がなかった」との回答が最も多く、70～74歳でも一定数見受けられる
- 20歳代、65～69歳、70～74歳では「健康に自信があり、必要性を感じない」との回答が最も多い

図表 5-17 健診を受けなかった理由（年齢別）



- 職業別に見ると、勤め人の場合は「仕事が忙しく、受診する時間がなかった」が41.2%で最も多く、次に「お金がかかる」が28.8%が多い
- 自営業の場合は「仕事が忙しく、受診する時間がなかった」との回答が51.6%で最も多い
- 主婦・主夫の場合は「通院していたから・入院していたから」が29.6%で最多

図表 5-18 健診を受けなかった理由（職業別）



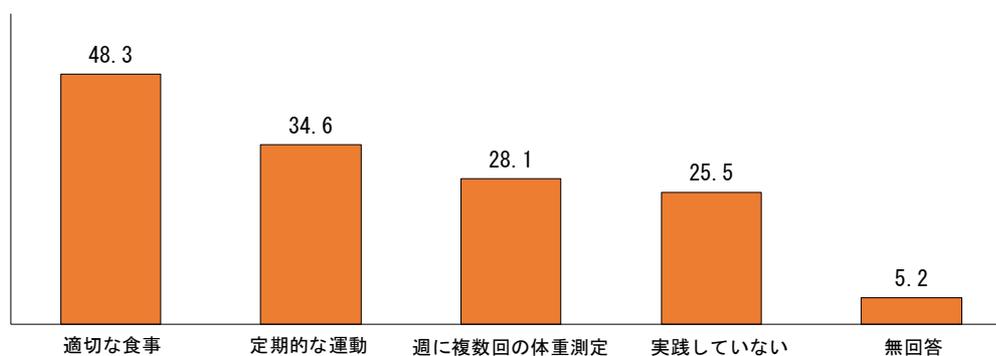
⑦ 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）予防・改善のために実践しているもの（複数回答）

- 「適切な食事」が48.3%で最も多く、「定期的な運動」（34.6%）、「週に複数回の体重測定」（28.1%）が続く
- 「実践していない」は25.5%

図表 5-19 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）予防・改善のために実践しているもの

（単位：％）

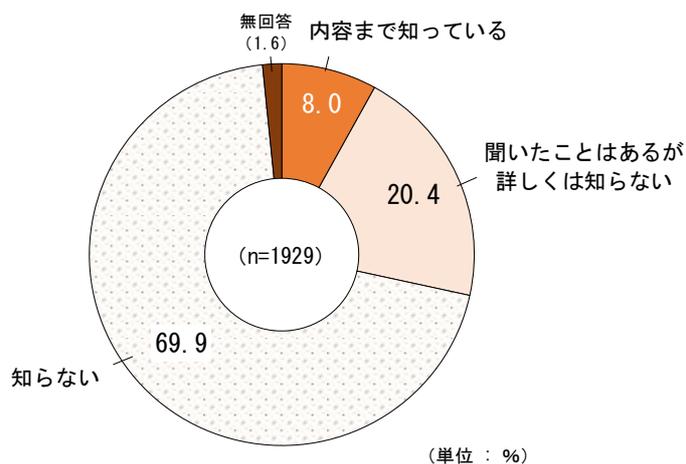
（n=1929）



⑧ 「オーラルフレイル」という言葉の認知度（単一回答）

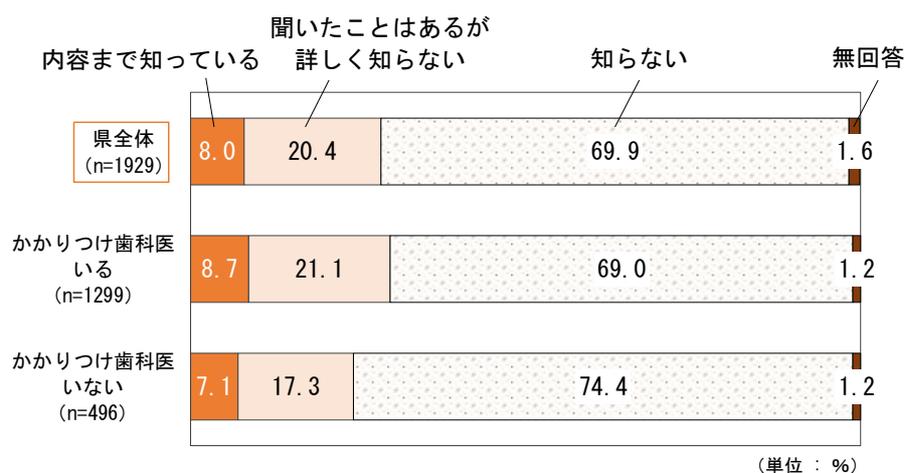
○「内容まで知っている」は8.0%、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」は20.4%

図表 5-20 「オーラルフレイル」という言葉の認知度



○ かかりつけ歯科医の有無別に見ると、認知度に大きな違いは見受けられなかった

図表 5-21 「オーラルフレイル」という言葉の認知度（かかりつけ歯科医の有無別）

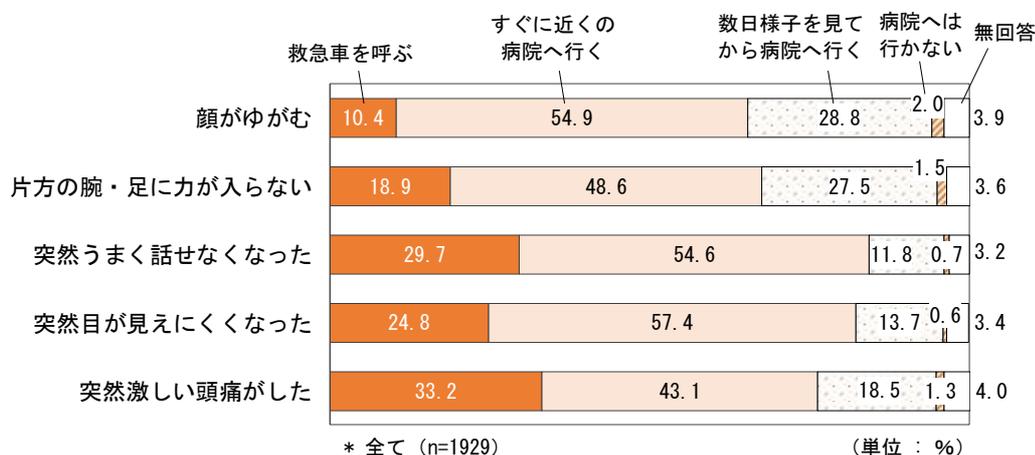


## 6. 循環器病（脳卒中や心疾患）

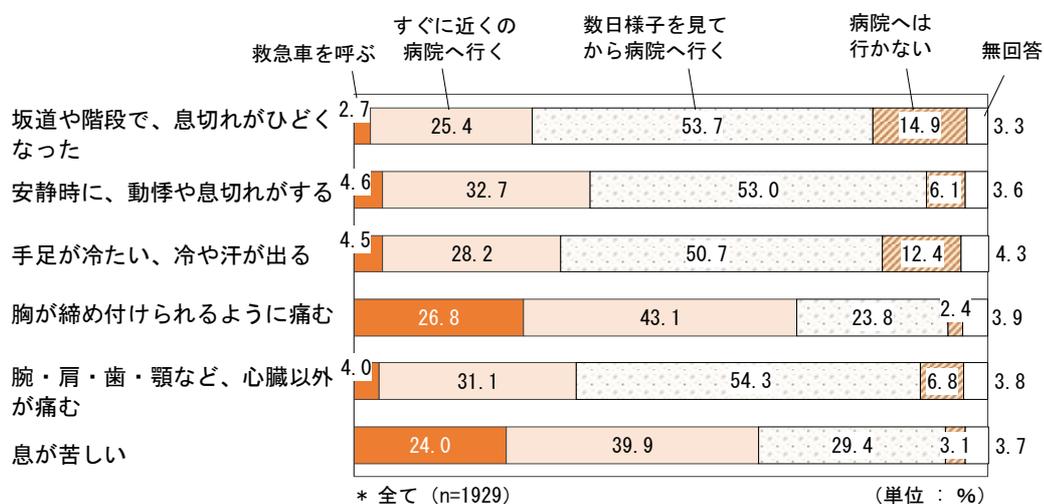
### ① 各症状が出た場合にどうするか〔症状別〕（単一回答）

- 脳卒中の症状では、「救急車を呼ぶ」との回答は「突然激しい頭痛がした」で33.2%と最も多くなっている一方で、「顔がゆがむ」や「片方の腕・足に力が入らない」等では少ない
- 心疾患の症状では、「救急車を呼ぶ」との回答は「胸が締め付けられるように痛む」が26.8%と最も多くなっている一方で、「坂道や階段で、息切れがひどくなった」等では少ない

図表 6-1 各症状が出た場合にどうするか〔脳卒中の症状〕



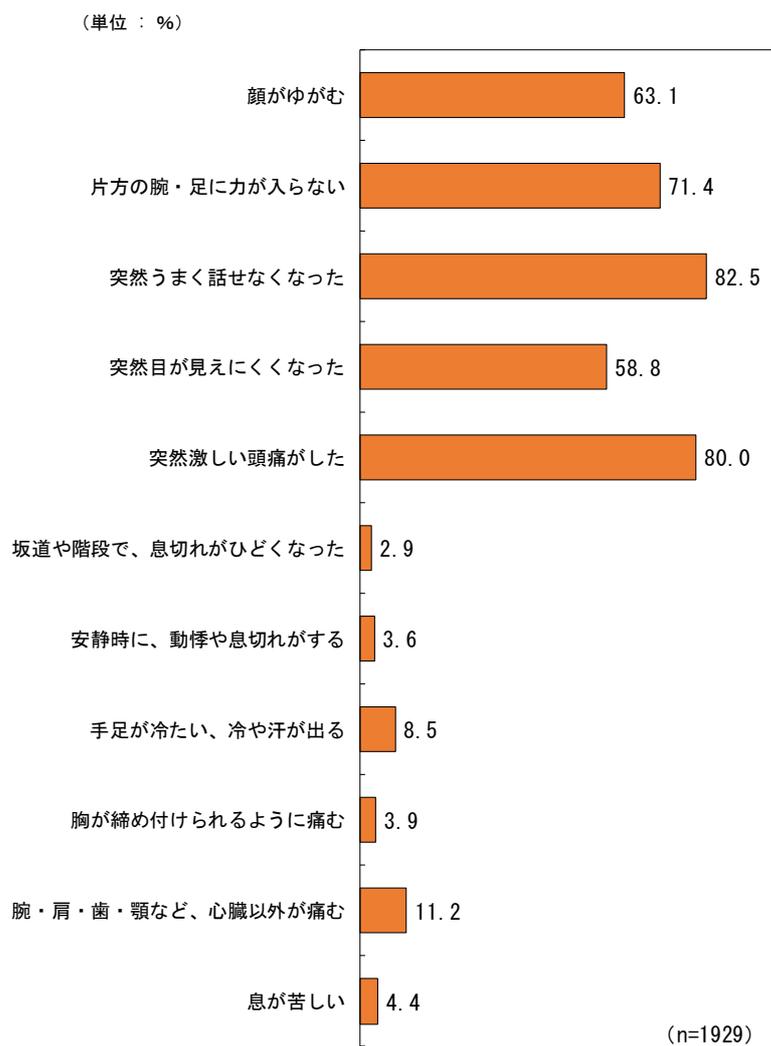
図表 6-2 各症状が出た場合にどうするか〔心疾患の症状〕



## ② 脳卒中・心疾患の症状だと思うもの（複数回答）

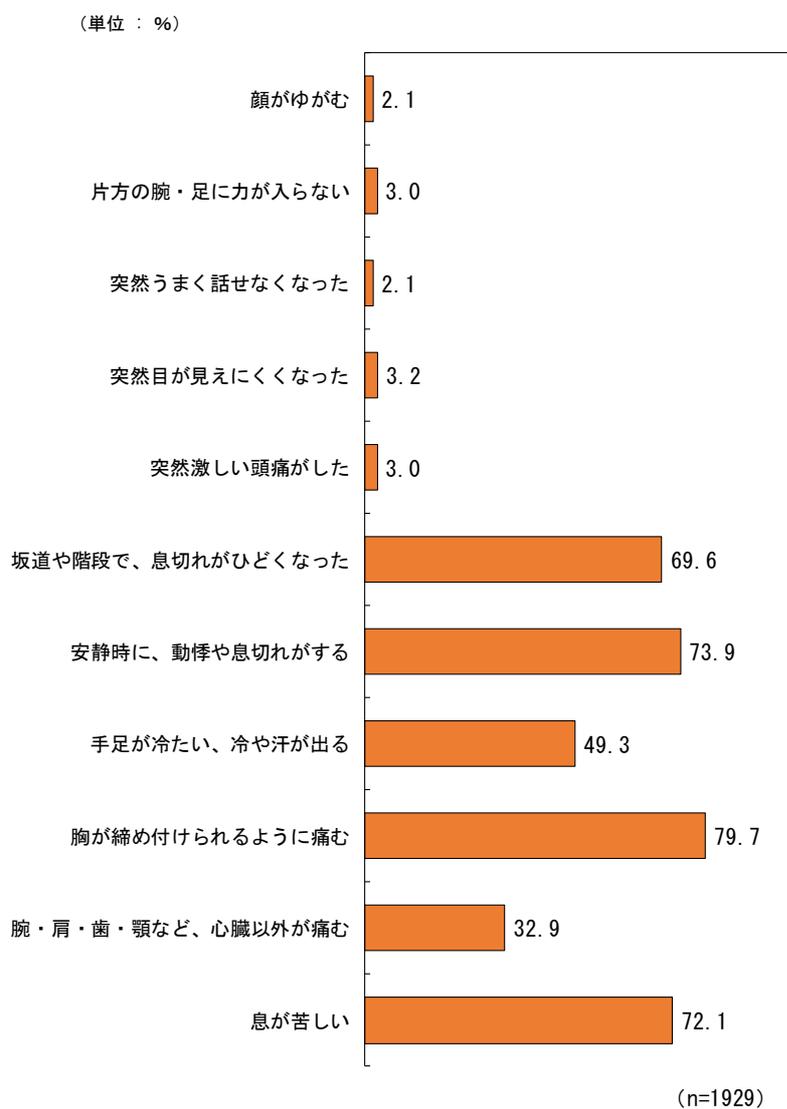
○ 脳卒中の症状だと思うものとしては、「突然うまく話せなくなった」「突然激しい頭痛がした」との回答が8割以上ある一方で、「顔がゆがむ」等は6割程度と比較的少ない

図表 6-3 脳卒中の症状だと思うもの



- 心疾患の症状だと思うものとしては、「胸が締め付けられるように痛む」との回答が8割程度ある
- 「坂道や階段で、息切れがひどくなった」等は心疾患の症状だと認識している人は7割程度いるものの、「救急車を呼ぶ」「すぐに近くの病院へ行く」と答えた割合は少ない

図表 6-4 心疾患の症状だと思うもの

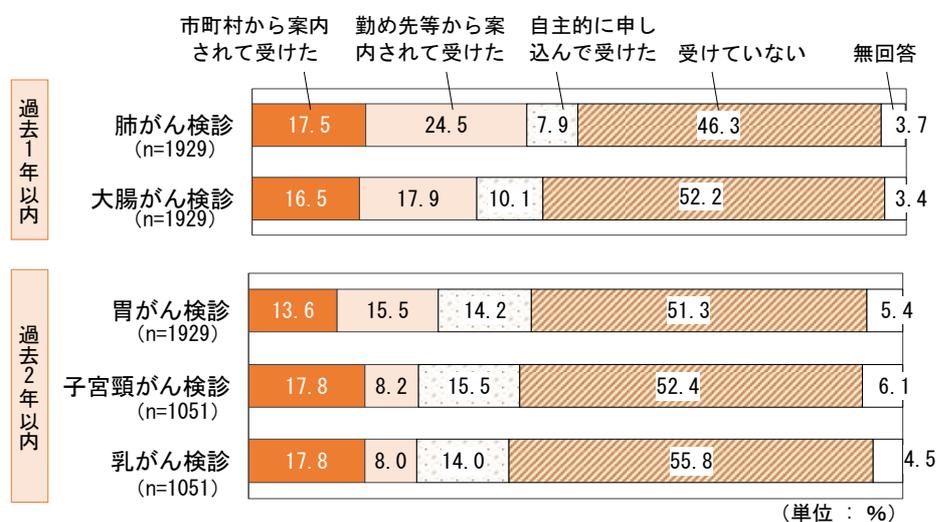


## 7. がん

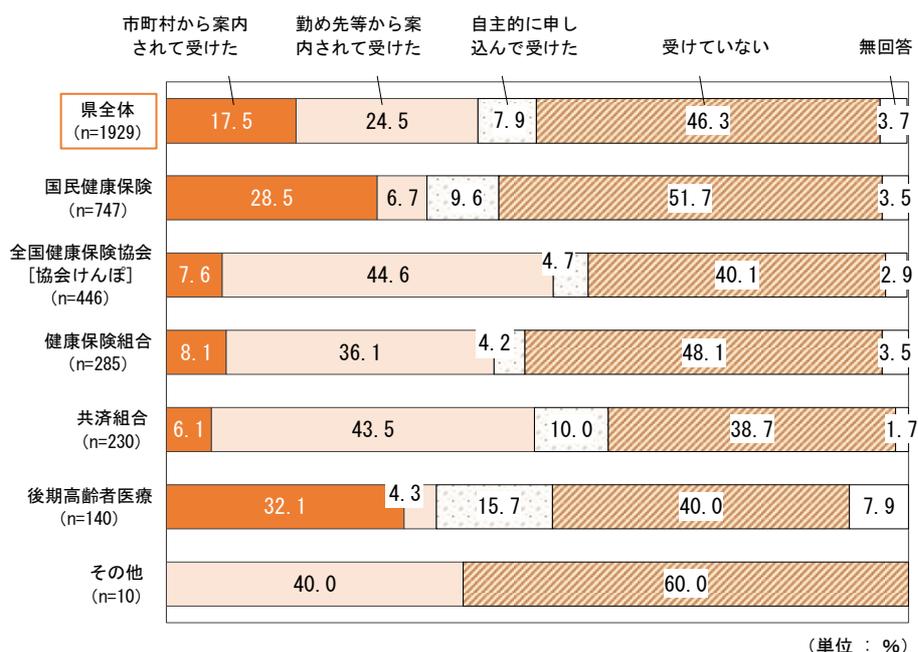
### ① がん検診は受けたか（単一回答）

- いずれの検診でも「受けていない」との回答は約半数を占めている
- 加入している医療保険別に見た場合、肺がん検診を「受けていない」との回答は国民健康保険で51.7%、健康保険組合が48.1%と約半数を占める一方で、全国健康保険協会では40.1%、共済組合では38.7%とやや少ない

図表 7-1 がん検診は受けたか

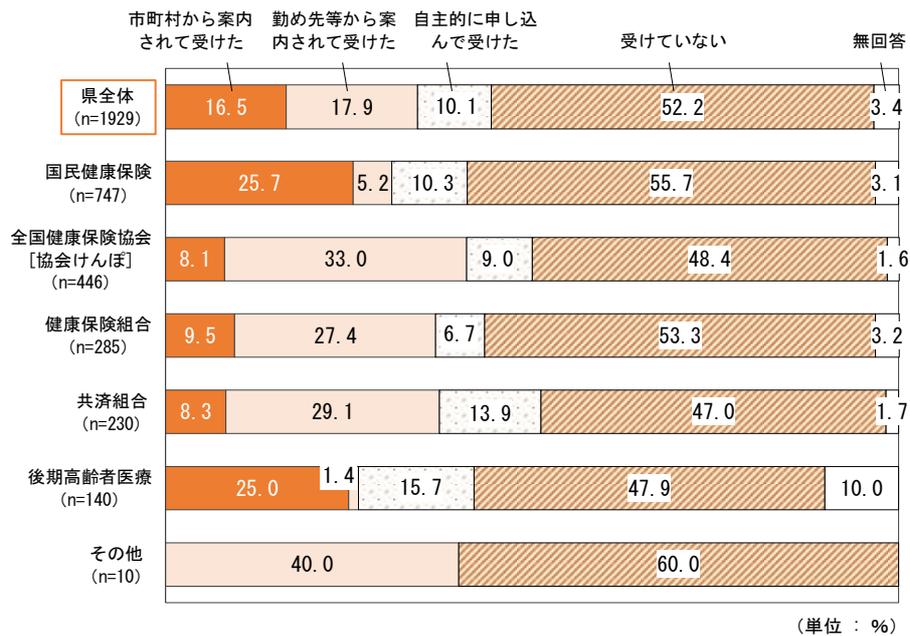


図表 7-2 がん検診は受けたか〔過去1年以内に肺がん検診〕（医療保険別）

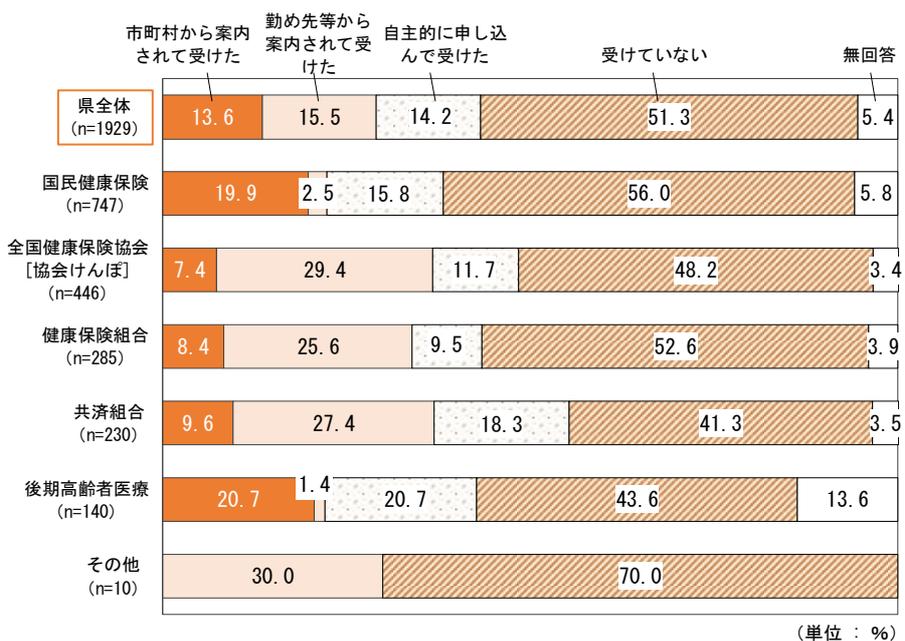


- 加入している医療保険別に見た場合、大腸がん検診を「受けていない」との回答は、いずれの医療保険においても半数程度を占めた
- 胃がん検診を「受けていない」との回答は、国民健康保険、全国健康保険協会、健康保険組合で約半数を占める一方で、共済組合は41.3%とやや少ない

図表 7-3 がん検診は受けたか [過去1年以内に大腸がん検診] (医療保険別)

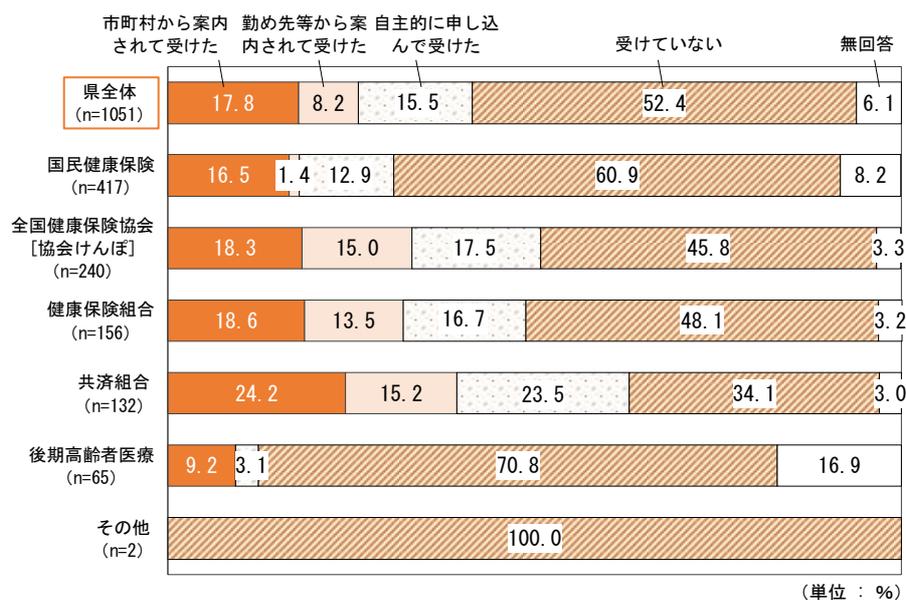


図表 7-4 がん検診は受けたか [過去2年以内に胃がん検診] (医療保険別)

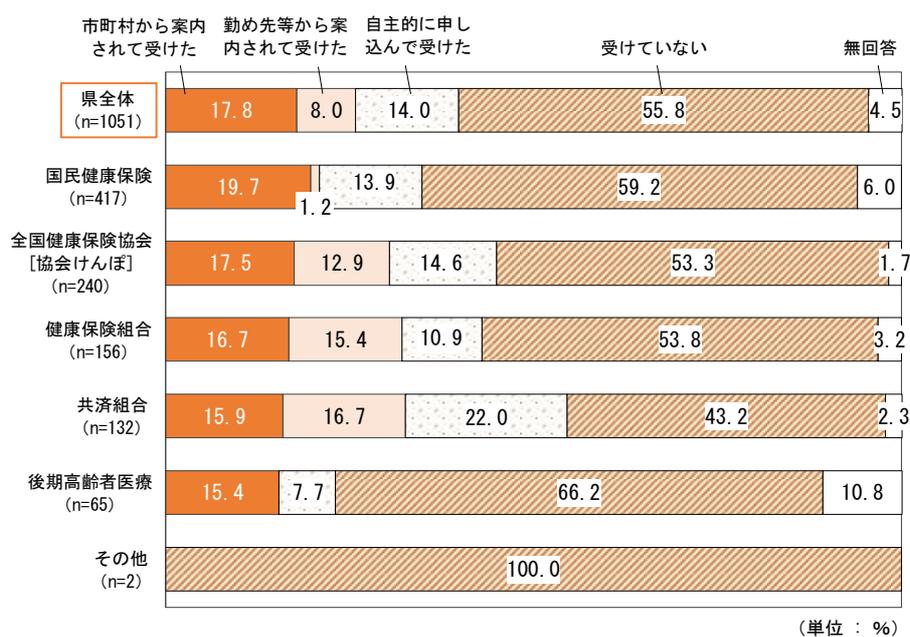


- 加入している医療保険別に見た場合、子宮頸がんを「受けていない」との回答は、後期高齢者医療で70.8%、国民健康保険で60.9%と多くなる一方で、共済組合では34.1%と比較的少ない
- 乳がん検診を「受けていない」との回答は、後期高齢者医療で66.2%、国民健康保険で59.2%と多くなる一方で、共済組合では43.2%と比較的少ない

図表 7-5 がん検診は受けたか [過去2年以内に子宮頸がん検診] (医療保険別)



図表 7-6 がん検診は受けたか [過去2年以内に乳がん検診] (医療保険別)



## ② がん検診を受けなかった理由（複数回答[最大2つまで]）

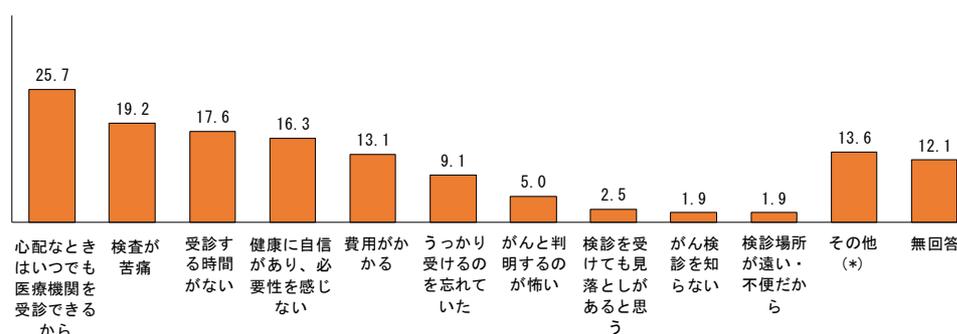
（\*）がん検診について、1つでも「受けていない」とした回答者のみ集計

○「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」が25.7%で最も多く、「検査が苦痛」（19.2%）、「受診する時間がない」（17.6%）、「健康に自信があり、必要性を感じない」（16.3%）が後に続く

図表 7-7 がん検診を受けなかった理由

（単位：％）

（n=1336）

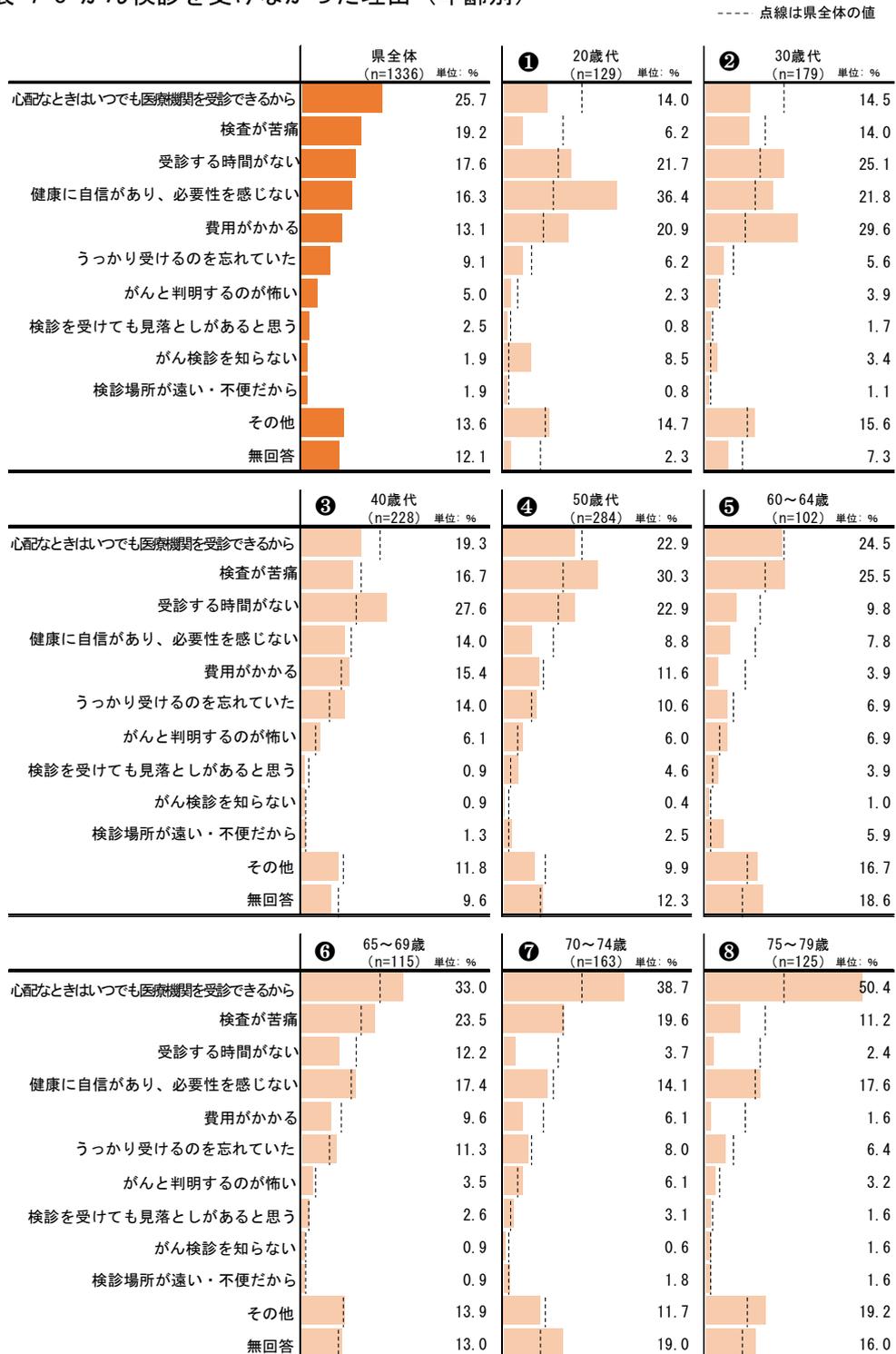


### （\*）「その他」の具体的な記述内容

- ・治療中
- ・そのうち受けようと思いつつ先延ばしに
- ・コロナ禍で検診を控えた
- ・他の病気があり、検診したくてもできない
- ・人間ドックのメニューに入っていないから
- ・気になる症状がないため
- ・婦人科系は行きにくい
- ・まだ若いので心配していない
- ・子宮を摘出しているから
- ・今後受ける予定

- 年齢別に見た場合、最も多い回答には違いが見られ、20歳代では「健康に自信があり、必要性を感じない」が、30歳代では「費用がかかる」、40歳代では「受診する時間がない」、50歳代と60～64歳では「検査が苦痛」、65歳以上では「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」が最多回答となっている

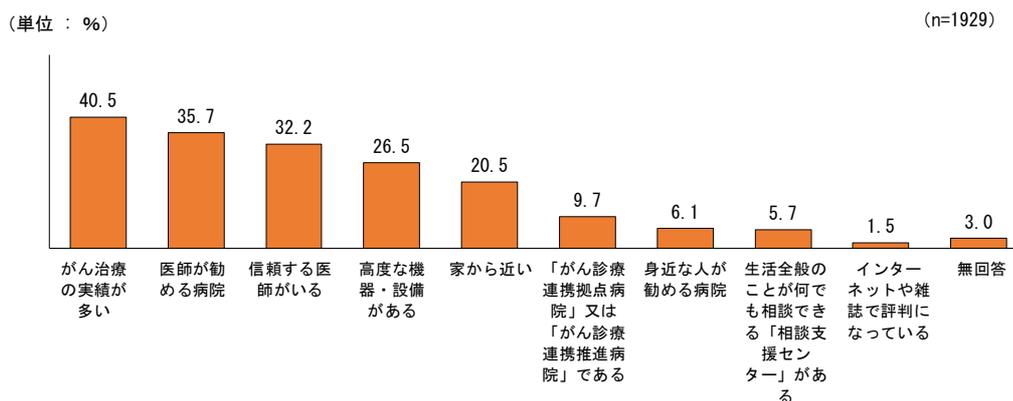
図表 7-8 がん検診を受けなかった理由（年齢別）



③ がんと診断された場合に病院選びの基準で重視するもの（複数回答[最大 2 つまで]）

○ 「がん治療の実績が多い」が 40.5%で最も多く、「医師が勧める病院」（35.7%）、「信頼する医師がいる」（32.2%）が後に続く

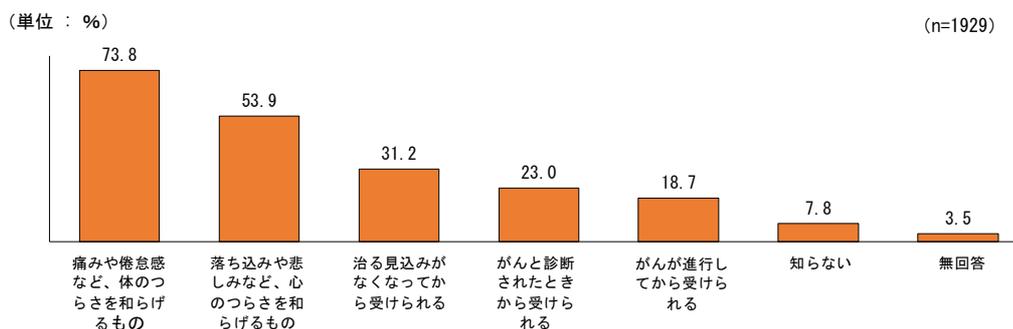
図表 7-9 がんと診断された場合に病院選びの基準で重視するもの



④ 「緩和ケア」とはどのようなものと思うか（複数回答）

○ 「治る見込みがなくなってから受けられる」が 31.2%で、「がんと診断されたときから受けられる」の 23.0%を上回っている

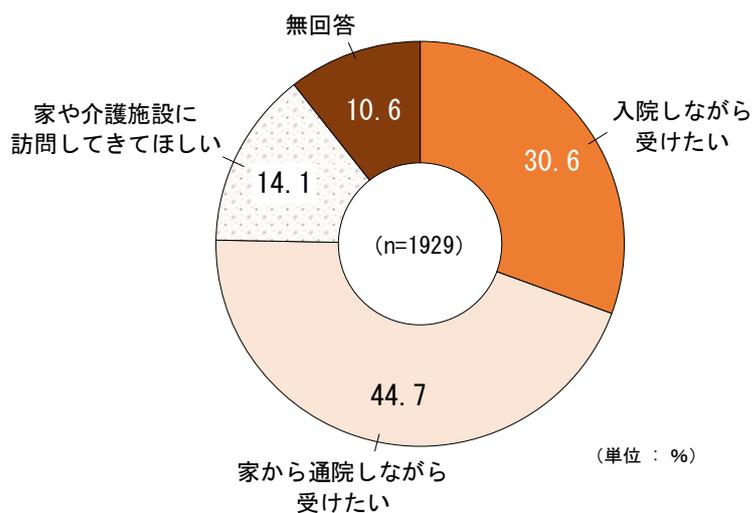
図表 7-10 「緩和ケア」とはどのようなものと思うか



⑤ 「緩和ケア」を受けるならどこで受けたいか（単一回答）

- 
- 「家から通院しながら受けたい」が44.7%で最も多く、「入院しながら受けたい」(30.6%)、「家や介護施設に訪問してきてほしい」(14.1%)が後に続く
- 

図表 7-11 「緩和ケア」を受けるならどこで受けたいか

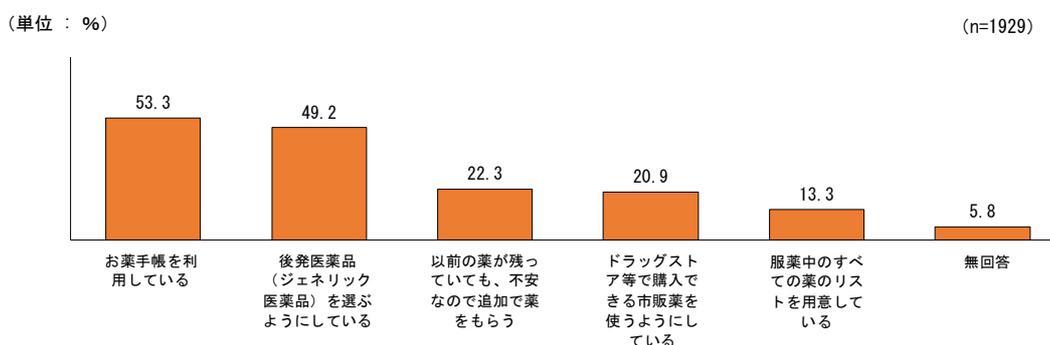


## 8. 医薬品

### ① 医薬品の使用（複数回答）

- 「お薬手帳を利用している」は 53.3%、「後発医薬品を選ぶようにしている」は 49.2%と、ともに約半数を占めた
- 「以前の薬が残っていても、不安なので追加で薬をもらう」も 22.3%あった

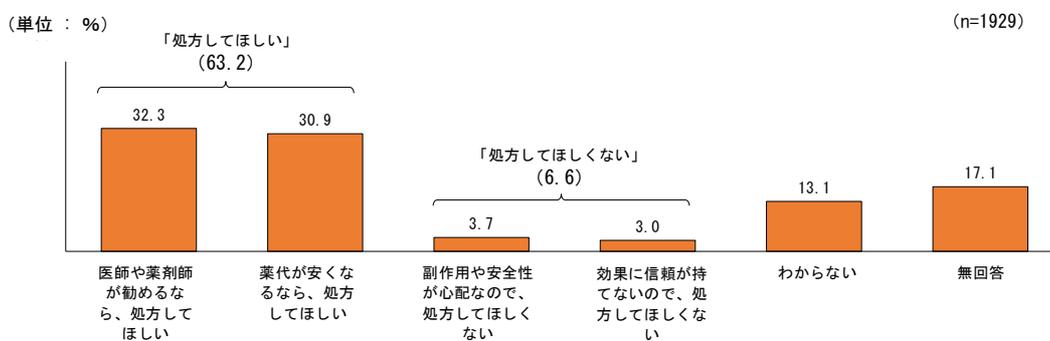
図表 8-1 医薬品の使用



### ② 後発医薬品を処方してほしいか（単一回答）

- 「医師や薬剤師が勧めるなら、処方してほしい」と「薬代が安くなるなら、処方してほしい」を合わせると 63.2%を占める

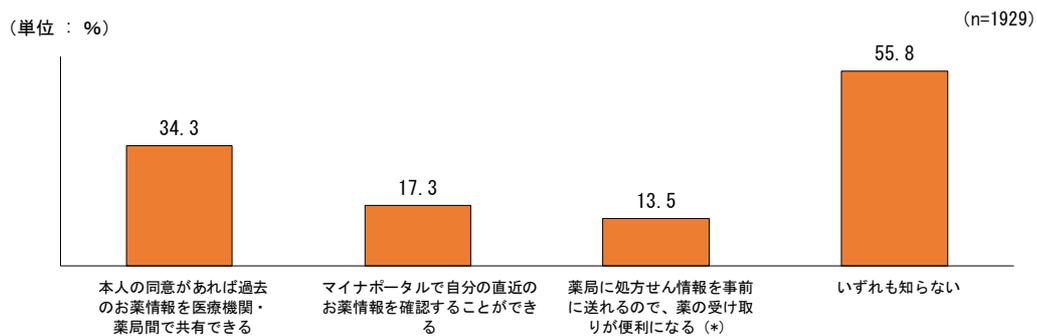
図表 8-2 後発医薬品を処方してほしいか



③ マイナンバーカードを利用し電子処方せんを選ぶことのメリットで知っているもの（複数回答）

○「いずれも知らない」が55.8%で最も多い

図表 8-3 マイナンバーカードを利用し電子処方せんを選ぶことのメリットで知っているもの



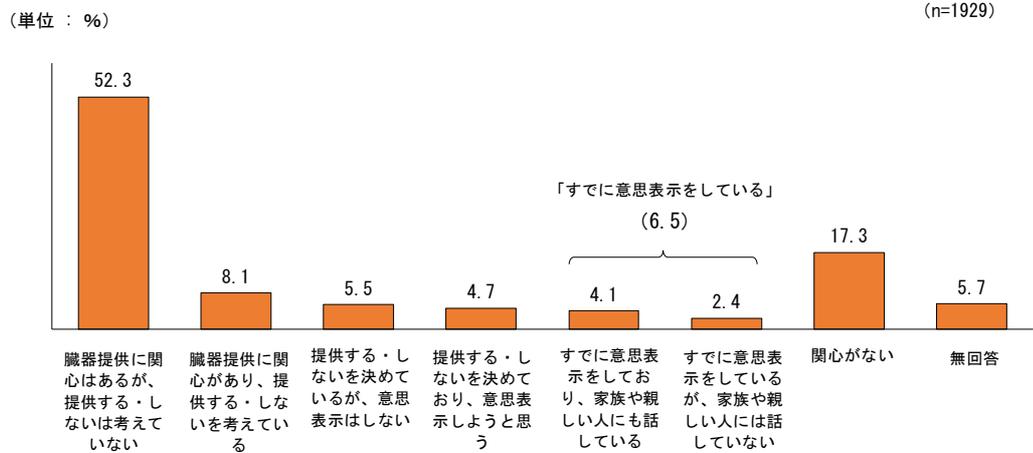
(\*) 「薬局に処方せん情報をあらかじめ送ることができるので、薬の受け取りが便利になる」を略記

## 9. 移植医療

### ① 臓器提供の意思表示（単一回答）

- 「臓器提供に関心はあるが、提供する・しないは考えていない」が52.3%で最も多く、「関心がない」（17.3%）が続く
- 「すでに意思表示をしている」は6.5%

図表 9-1 臓器提供の意思表示



- 年齢別に見た場合、いずれの年齢層においても「臓器提供に関心はあるが、提供する・しないは考えていない」が最多回答となっており、年齢による大きな違いは見受けられない

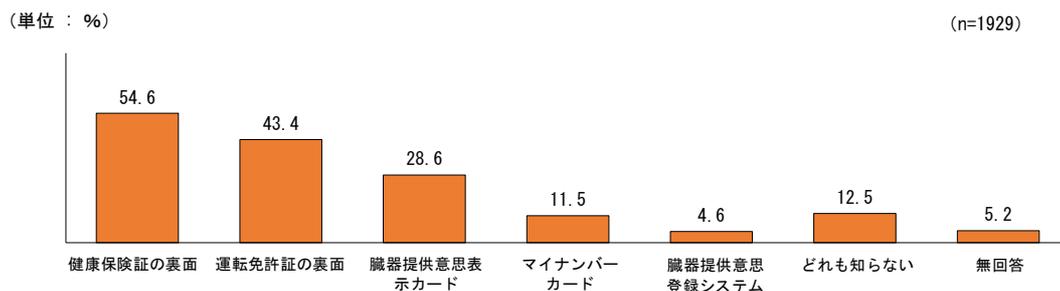
図表 9-2 臓器提供の意思表示（年齢別）



## ② 意思表示の方法で知っているもの（複数回答）

○「健康保険証の裏面」が54.6%で最も多く、「運転免許証の裏面」(43.4%)、「臓器提供意思表示カード」(28.6%)が後に続く

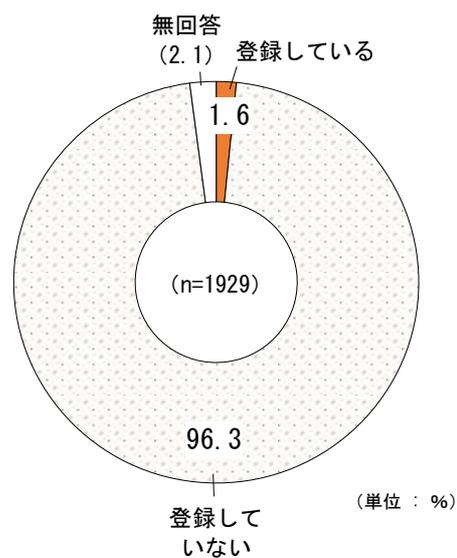
図表 9-3 意思表示の方法で知っているもの



## ③ 骨髄バンクへの登録状況（単一回答）

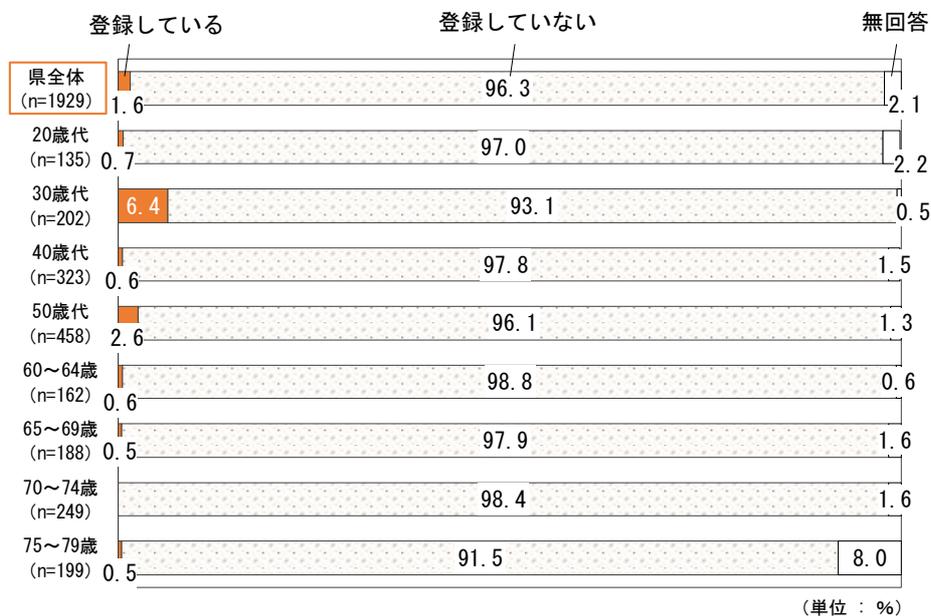
○「登録している」は1.6%で、「登録していない」が96.3%を占める

図表 9-4 骨髄バンクへの登録状況



○ 年齢別に見た場合、30歳代で「登録している」との回答割合が6.4%と比較的高い

図表 9-5 骨髄バンクへの登録状況（年齢別）

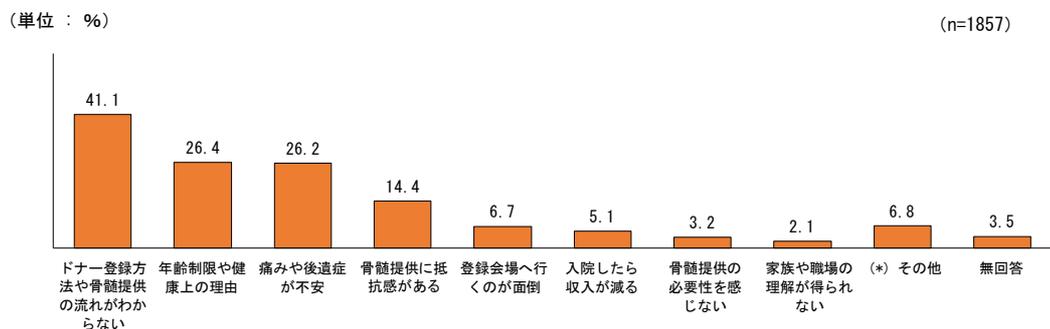


④ 骨髄バンクに登録していない・登録できない理由（複数回答）

(\*) 骨髄バンクに「登録していない」とした回答者のみ集計

○ 「ドナー登録方法や骨髄提供の流れがわからない」が41.1%で最も多く、「年齢制限や健康上の理由」(26.4%)、「痛みや後遺症が不安」(26.2%)が後に続く

図表 9-6 骨髄バンクに登録していない・登録できない理由



(\*) 「その他」の具体的な記述内容

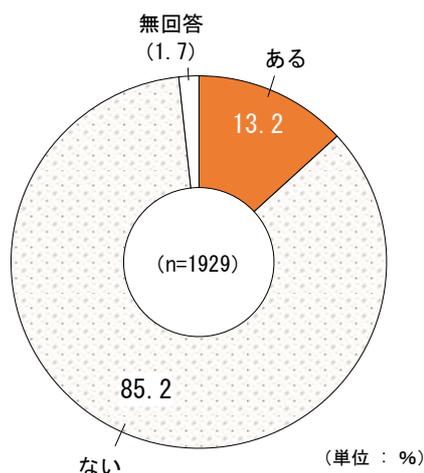
- よくわからない
- 持病があるため
- がんになったから
- 関心がない
- 等

## 10. 救急医療

### ① 過去1年間に体調が急に悪化したことはあるか（単一回答）

○「ある」が13.2%で、「ない」が85.2%を占める

図表 10-1 過去1年間に体調が急に悪化したことはあるか



### ② 体調が急に悪化した時にどうしたか（単一回答）

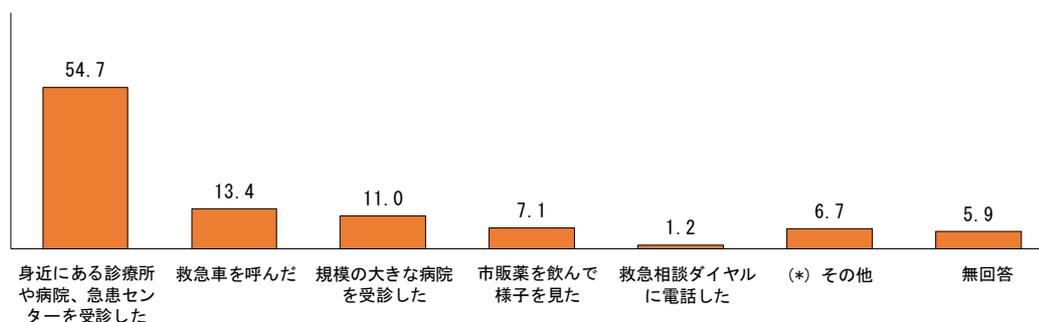
(\*) 過去1年間に体調が急に悪化したことが「ある」とした回答者のみ集計

○「身近にある診療所や病院、急患センターを受診した」が54.7%で最も多く、「救急車を呼んだ」(13.4%)、「規模の大きな病院を受診した」(11.0%)が後に続く

図表 10-2 体調が急に悪化した時にどうしたか

(単位：%)

(n=254)



(\*) 「その他」の具体的な記述内容

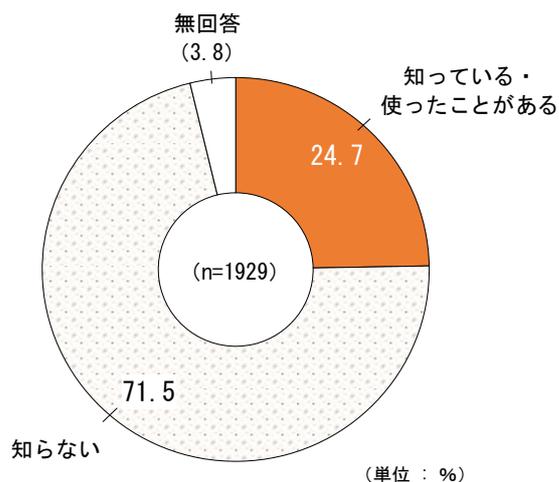
・かかりつけ医に診察してもらった

・自宅で様子見 (何もしなかった) 等

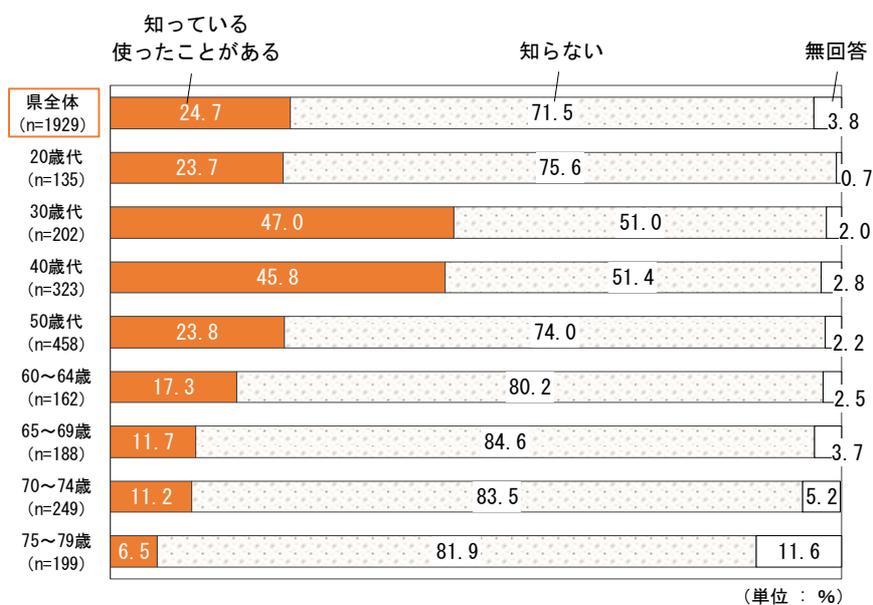
③ 子ども救急相談ダイヤル（#8000）を知っているか（単一回答）

- 「知っている・使ったことがある」は24.7%で、「知らない」が71.5%を占める
- 年齢別に見た場合、30歳代・40歳代で「知っている・使ったことがある」との回答が比較的多くなっており、それぞれ47.0%、45.8%を占める

図表 10-3 子ども救急相談ダイヤル（#8000）を知っているか



図表 10-4 子ども救急相談ダイヤル（#8000）を知っているか（年齢別）

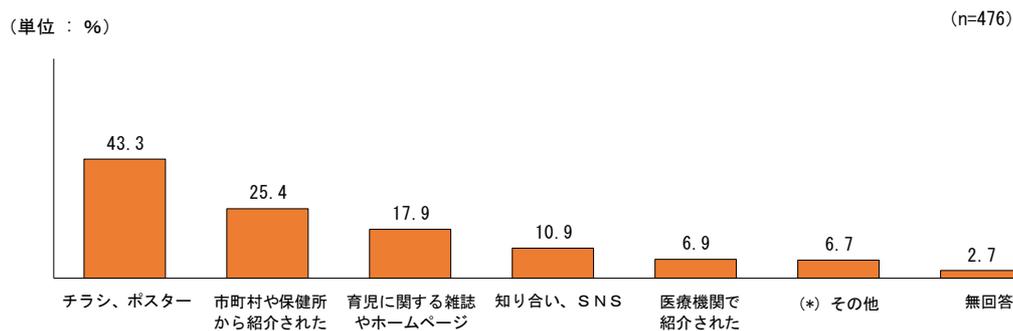


#### ④ 子ども救急相談ダイヤル（#8000）をどこで知ったか（単一回答）

（\*）子ども救急相談ダイヤル（#8000）を「知っている・使ったことがある」とした回答者のみ集計

○「チラシ、ポスター」が 43.3%で最も多く、「市町村や保健所から紹介された」（25.4%）、「育児に関する雑誌やホームページ」（17.9%）が後に続く

図表 10-5 子ども救急相談ダイヤル（#8000）をどこで知ったか



（\*）「その他」の具体的な記述内容

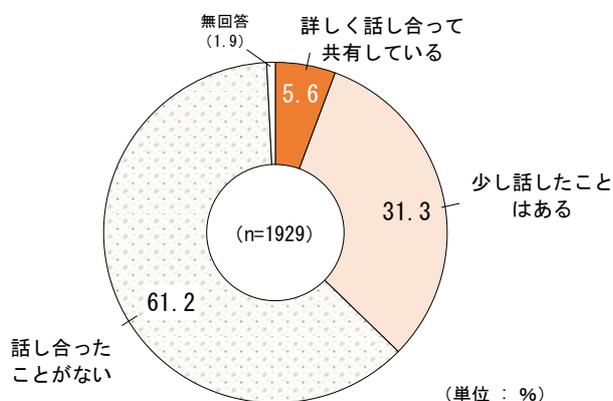
・テレビやラジオ 等

## 11. 人生の最終段階における医療

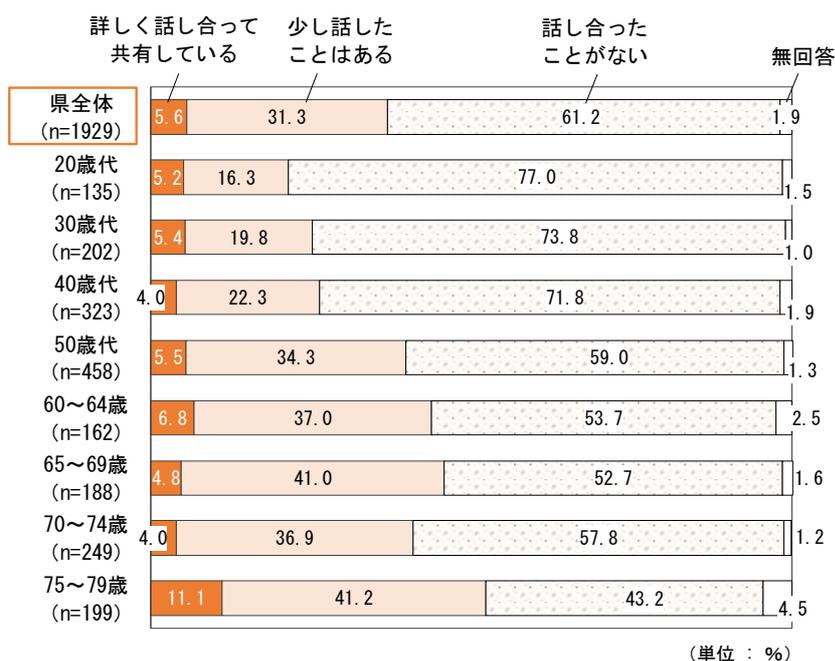
### ① 人生の最終段階における医療・ケアについて、受けたいもの・受けたくないものを家族と話し合ったことはあるか（単一回答）

- 「詳しく話し合って、共有している」は5.6%、「少し話したことはある」は31.3%
- 年齢別に見た場合、50歳以上の年齢層で「少し話したことはある」との回答割合は比較的高くなる

図表 11-1 人生の最終段階における医療・ケアについて、受けたいもの・受けたくないものを家族と話し合ったことはあるか

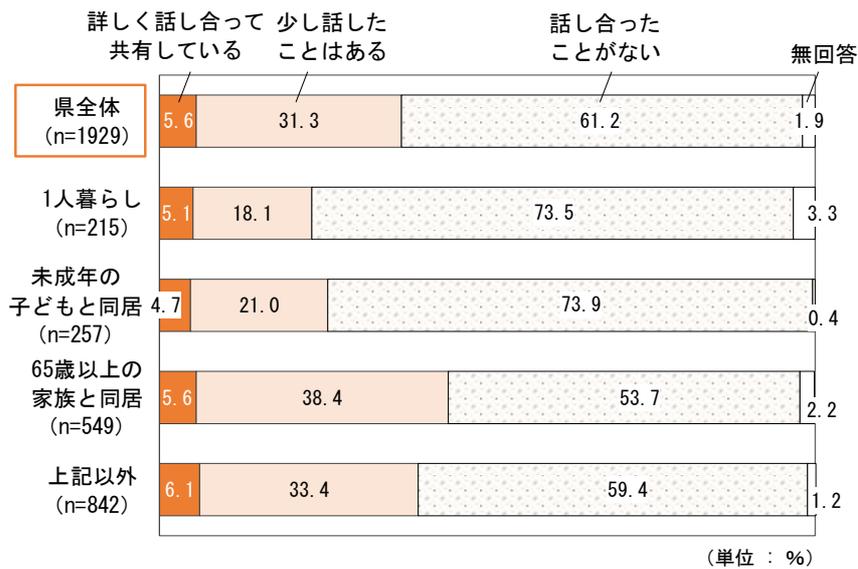


図表 11-2 人生の最終段階における医療・ケアについて、受けたいもの・受けたくないものを家族と話し合ったことはあるか（年齢別）



- 世帯構成別に見た場合、65歳以上の家族と同居している世帯では、「少し話したことはある」との回答割合が38.4%と比較的高くなる一方で、1人暮らし世帯、未成年の子どもと同居する世帯では低い

図表 11-3 人生の最終段階における医療・ケアについて、受たいもの・受たくないものを家族と話し合ったことはあるか（世帯構成別）

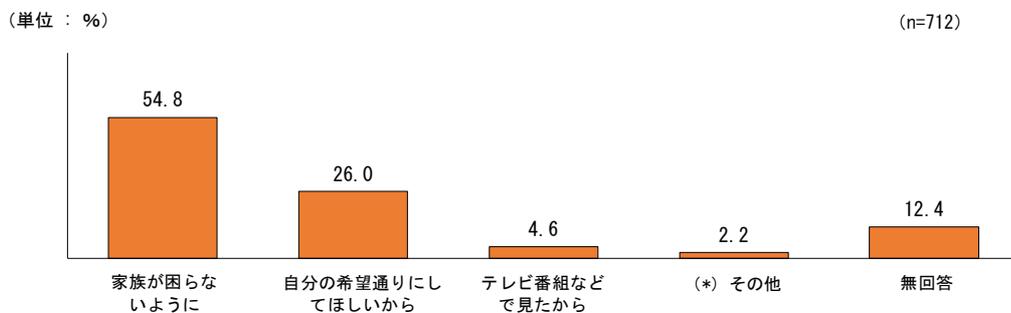


② 家族と話し合った理由（単一回答）

(\*) 家族と「詳しく話し合っ  
て共有している」「少し話したことはある」とした回答者のみ集計

- 「家族が困らないように」が54.8%で最も多い

図表 11-4 家族と話し合った理由



(\*) 「その他」の具体的な記述内容

・身近な人の死に直面したから

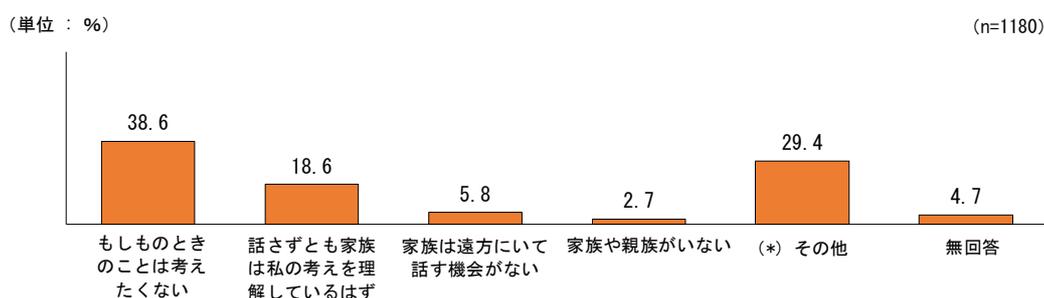
・知人の体験談を聞いたから 等

### ③ 家族と話し合っていない理由（単一回答）

(\*) 家族と「話し合ったことがない」とした回答者のみ集計

○「もしものときのことは考えたくない」が38.6%で最も多くなっており、続いて「その他」(29.4%)との回答が多い。「その他」には、「話し合う機会がない」「その時になったら話す」といった意見が見られた

図表 11-5 家族と話し合っていない理由



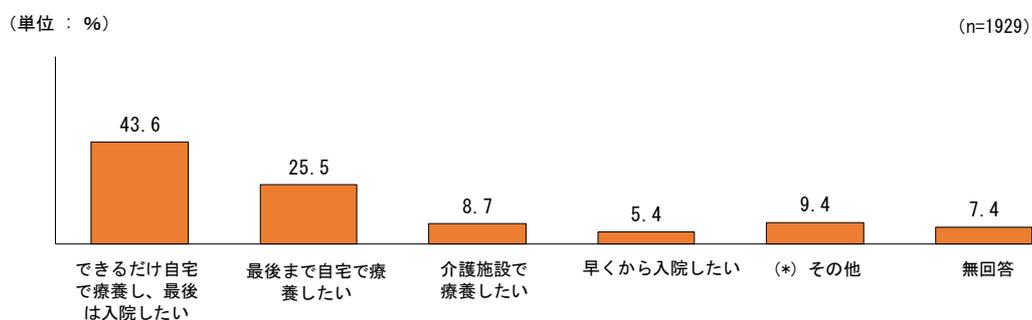
(\*)「その他」の具体的な記述内容

- ・話し合う機会がない
  - ・考えたことすらなかった
  - ・自然に任せる
  - ・先の話なので話題にならない
  - ・その時になったら、必要になったら話す
  - ・考えたくない
- 等

### ④ 自分の最期をどう過ごしたいか（単一回答）

○「できるだけ自宅で療養し、最後は入院したい」が43.6%で最も多く、「最後まで自宅で療養したい」(25.5%)が後に続く

図表 11-6 自分の最期をどう過ごしたいか

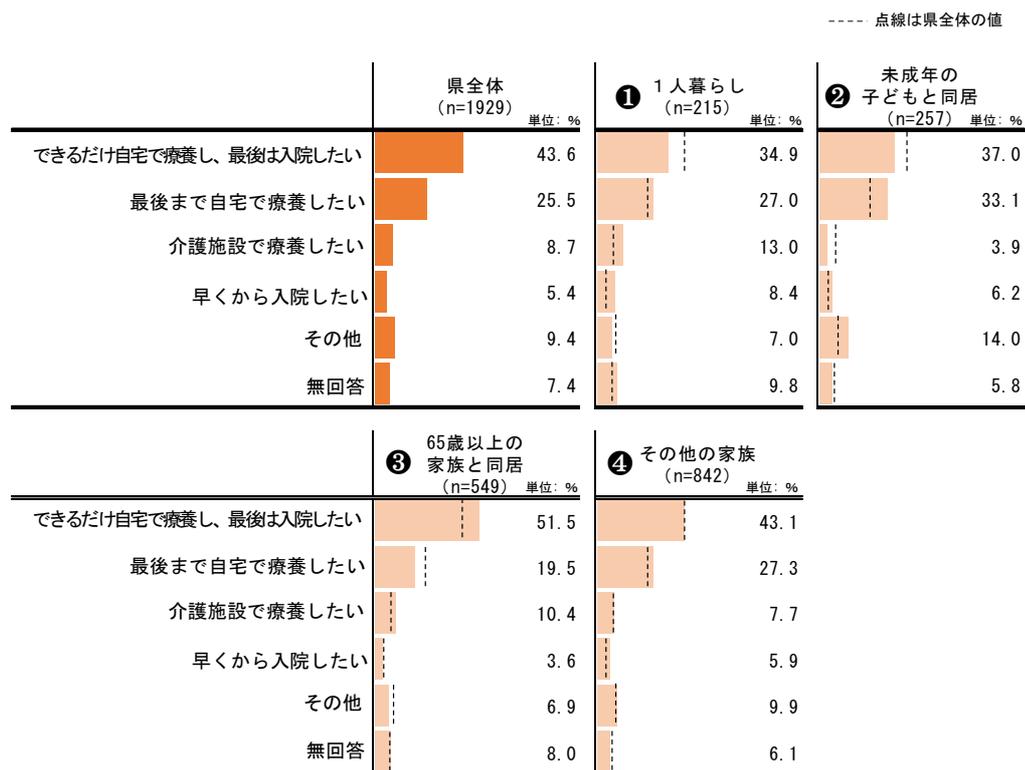


(\*)「その他」の具体的な記述内容

- ・その時になるまでわからない
  - ・家族への負担が少ない方、迷惑にならない方を選びたい
  - ・医師に従う
  - ・家族の意見を尊重
- 等

- 世帯構成別に見た場合、いずれの世帯構成においても「できるだけ自宅で療養し、最後は入院したい」が最も多くなっており、特に65歳以上の家族と同居する世帯において、その回答割合は51.5%と比較的高い

図表 11-7 自分の最期をどう過ごしたいか（世帯構成別）



## 12. 医療について感じていること（自由意見）

### <診療・薬（処方）に関すること>

内容	主な意見
待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間が長すぎる（特に大病院）</li> <li>・体力のない患者が何時間も待つのはつらい</li> <li>・予約しているのに1～2時間も待たされる</li> <li>・待ち時間を短くする努力をしてほしい</li> <li>・待ち時間を知らせる仕組みがほしい</li> <li>・小児科が混みすぎている</li> <li>・早く会計してほしい</li> </ul>
診療時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝、深夜、休日にも診療してほしい</li> <li>・どの医療機関も診療曜日・時間が同じ。異なっていればどこかで受診できるのに</li> </ul>
医療従事者 ・ 患者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝している</li> <li>・医師はパソコンの画面ばかり見て、患者の顔をあまり見ない</li> <li>・患者の話をちゃんと聞いてほしい</li> <li>・「加齢によるもの」「専門でない」で済まさないでほしい</li> <li>・患者に寄り添って見てもらいたい</li> <li>・専門用語ではなく、わかりやすい言葉で説明してほしい</li> <li>・信頼できる医師がいない</li> <li>・医師を増やすべき、待遇を改善すべき</li> </ul>
かかり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大病院も紹介状なしで受診できるようにしてほしい</li> <li>・カルテをどの医療機関・薬局でも共有できるようにしてほしい</li> <li>・すぐに退院させられる</li> </ul>
薬の処方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過剰な投薬が多いのではないか</li> </ul>
デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン診療が普及してほしい</li> </ul>
地域間格差	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに大きな病院がない、近くに医療機関がない</li> <li>・住む場所によって受けられる医療に差がある、田舎には選択肢がない</li> <li>・田舎には専門の医師がいない</li> <li>・地域で安心して出産できる体制を望む</li> <li>・病院へ行く交通手段がない</li> </ul>

<医療制度に関すること>

内容	主な意見
医療費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費が高い、自己負担を下げしてほしい</li> <li>・保険料が高い</li> <li>・診療報酬明細書の点数表記がわかりにくい</li> <li>・子供の医療費助成はありがたい</li> </ul>
マイナンバーカード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードか健康保険証か、選べるようにしてほしい</li> <li>・マイナンバーカードは不安</li> </ul>
健診	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査費用は高い、がん検診費用は毎年助成してほしい</li> <li>・住民票と異なる市町村でも受診できるようにしてほしい</li> </ul>

<啓発、周知に関すること>

内容	主な意見
医療情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの病院、どの診療科に行けばいいのかわからない</li> <li>・病院マップがほしい</li> <li>・自分が使える金銭的な支援制度を教えてほしい</li> </ul>
予防医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防医療をもっと周知すべき</li> <li>・病気になるしない施策を行政と医療関係者で考えてほしい</li> </ul>
医療のかかり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリニック、中核病院、大学病院の役割分担を、一般にもっと周知すべき</li> </ul>

<その他>

内容	主な意見
救急	<ul style="list-style-type: none"> <li>・#8000 はつながらない</li> </ul>
延命治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延命治療は必要ない</li> <li>・本人が望む医療を提供してほしい</li> <li>・安楽死、尊厳死を認めるべき</li> </ul>



### III 參考資料 (調查票)

---





⑥少し離れた医療機関に通院するなら、あなたが使うであろう移動手段〔主なもの1つを選択〕	1. 自分で車やバイクを運転していく 2. 電車、バス、タクシーなどを使う 3. 家族や親族に送迎してもらう 4. 通院介助のサービスを利用する 5. 自宅からの移動は困難（寝たきり等）
⑦もし、50キロほど離れた医療機関でしか診察や治療ができない場合、あなたがそこへ通院するために必要な支援は〔あてはまるものすべて選択〕	1. 電車、バス、タクシーなどの費用の補助 2. 病院の近くに一時宿泊できる施設 3. 子どもや、介護が必要な家族の、一時預かり 4. 普段は家の近くの医療機関で検査を受け、離れた医療機関からオンラインで診察してもらえらる仕組み 5. 特に支援は必要ない 6. その他（ ）
⑧「セカンド・オピニオン」を知っていますか ※	1. 内容まで知っている 2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない 3. 知らない

※治療法を決めるなどの際に、主治医以外の医師の意見を聞くこと

#### 問4. 自分の医療費

①加入している医療保険者から送付される医療費通知の内容を見えていますか	1. 見ている 2. 見ていない
-------------------------------------	---------------------

#### 問5. 健康づくり・健康診断

①健康のために気をつけていること〔2つまで選択〕	1. 規則正しい生活 3. 栄養のバランス 5. 適度な運動 7. 歯や口腔の衛生	2. 飲酒や禁煙 4. 減塩（うす味） 6. 地域の活動に参加 8. その他（ ）		
②社会活動やグループ活動への参加頻度	週数回	月数回	年数回	しない
(1) 仕事・学校へ行く	1	2	3	4
(2) 町内会や地域行事への参加	1	2	3	4
(3) ボランティア活動	1	2	3	4
(4) 趣味やスポーツのグループ活動	1	2	3	4
(5) その他のグループ活動	1	2	3	4
③あなたと地域の人のつながり	1. つながりは強い（お互いに相談したり助け合っている） 2. ある程度つながりはある（日常的に立ち話をする） 3. あまり、つながりがない（挨拶程度の最小限のつきあい） 4. 近所づきあいがいい			
④過去1年以内に健康診断や人間ドックを受けましたか	1. 受けた 2. 受けていない	⇒⑤へ ⇒⑥へ		
⑤健診の後、医療機関を受診するよう勧められましたか（2次健診）	1. 勧められたので、医療機関へ行った 2. 勧められたが、医療機関へは行かなかった 3. 勧められていない（健診結果は良好だった）	} ⑦へ		
⑥健診を受けなかった理由〔2つまで選択〕 *受けなかった人のみ回答	1. 健康に自信があり、必要性を感じなかった 2. 通院していたから・入院していたから 3. お金がかかる 4. 育児や介護のため、家を離れられなかった 5. 仕事が忙しく、受診する時間がなかった 6. 家から遠い、健診場所まで行く移動手段がない 7. その他（ ）			
⑦内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防・改善のために実践しているもの〔あてはまるものすべて選択〕	1. 適切な食事 3. 週に複数回の体重測定	2. 定期的な運動 4. 実践していない		

⑧「オーラルフレイル」という言葉を知っていますか ※	1. 内容まで知っている 2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない 3. 知らない
----------------------------	--

※「オーラルフレイル」とは、以前に比べて、むせる・食べこぼす・かたい物が食べにくいといった口の機能の衰えのことです。放置したままでは心身の機能低下にもつながります。

## 問6. 循環器病（脳卒中や心疾患）

循環器病とは、心臓と血管に関する病気のことです。

脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの「脳卒中」や、狭心症・心筋梗塞・心不全などの「心疾患」があります。その原因は、加齢や肥満、飲酒、喫煙、運動不足、高血圧、糖尿病、脂質異常、腎臓病などさまざまです。

① 次の症状がでた場合、あなたはどうしますか	救急車を呼ぶ	すぐに近くの病院へ行く	数日様子を見てから病院へ行く	病院へは行かない
(1) 顔がゆがむ	1	2	3	4
(2) 片方の腕・足に力が入らない	1	2	3	4
(3) 突然うまく話せなくなった	1	2	3	4
(4) 突然目が見えにくくなった	1	2	3	4
(5) 突然激しい頭痛がした	1	2	3	4
(6) 坂道や階段で、息切れがひどくなった	1	2	3	4
(7) 安静時に、動機や息切れがする	1	2	3	4
(8) 手足が冷たい、冷や汗が出る	1	2	3	4
(9) 胸が締め付けられるように痛む	1	2	3	4
(10) 腕・肩・歯・顎など、心臓以外が痛む	1	2	3	4
(11) 息が苦しい	1	2	3	4
② ①の(1)～(11)のうち、 脳卒中の症状だと思うもの	該当すると思う番号をすべて記入してください			
心疾患の症状だと思うもの				

## 問7. がん

① がん検診を受けましたか * (4)(5)は女性のみ回答	市町村から案内されて受けた	勤め先等から案内されて受けた	自主的に申し込んで受けた	受けていない
過去1年以内に				
(1) 肺がん検診（肺レントゲンなど）	1	2	3	4
(2) 大腸がん検診（検便など）	1	2	3	4
過去2年以内に				
(3) 胃がん検診（胃カメラ・胃バリウムなど）	1	2	3	4
(4) 子宮頸がん検診（内診・細胞診など）	1	2	3	4
(5) 乳がん検診（触診・マンモグラフィなど）	1	2	3	4
② ①で受けなかった項目がある場合、その理由〔2つまで選択〕	1. 健康に自信があり、必要性を感じない 2. がん検診を知らない 3. 費用がかかる 4. 受診する時間がない 5. うっかり受けるのを忘れていた 6. 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから 7. 検診場所が遠い・不便だから 8. がんと判明するのが怖い 9. 検査が苦痛 10. 検診を受けても見落としがあると思う 11. その他（ ）			

③もし、あなたが「がん」と診断された場合、治療を受ける病院を選ぶときに重視するもの 〔2つまで選択〕	1. 家から近い 2. 信頼する医師がいる 3. 医師が勧める病院 4. 身近な人が勧める病院 5. がん治療の実績が多い 6. 高度な機器・設備がある 7. 生活全般のことが何でも相談できる「相談支援センター」がある 8. インターネットや雑誌で評判になっている 9. 「がん診療連携拠点病院」又は「がん診療連携推進病院」である
④「緩和ケア」とはどのようなものだと思いますか 〔あてはまるものすべて選択〕	1. 痛みや倦怠感など、体のつらさを和らげるもの 2. 落ち込みや悲しみなど、心のつらさを和らげるもの 3. がんと診断されたときから受けられる 4. がんが進行してから受けられる 5. 治る見込みがなくなってから受けられる 6. 知らない
⑤「緩和ケア」を受けるとどこで受けたいですか	1. 入院しながら受けたい 2. 家から通院しながら受けたい 3. 家や介護施設に訪問してきてほしい

## 問 8. 医薬品

①医薬品の使用に関すること 〔あてはまるものすべて選択〕	1. 以前の薬が残っていても、不安なので追加で薬をもらう 2. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）を選ぶようにしている 3. ドラッグストア等で購入できる市販薬を使うようにしている 4. お薬手帳を利用している 5. 服薬中のすべての薬のリストを用意している
②後発医薬品を処方してほしいか	1. 薬代が安くなるなら、処方してほしい 2. 医師や薬剤師が勧めるなら、処方してほしい 3. 効果に信頼が持てないので、処方してほしくない 4. 副作用や安全性が心配なので、処方してほしくない 5. わからない
③マイナンバーカードを利用し、電子処方せんを選ぶことのメリットで、知っているもの 〔あてはまるものすべて選択〕	1. 本人の同意があれば過去のお薬情報を医療機関・薬局間で共有でき、同じ成分の薬をもらうこと（重複投薬）や良くない薬の飲み合わせを防ぐことができる 2. マイナポータルで自分の直近のお薬情報を確認することができる 3. 薬局に処方せん情報をあらかじめ送ることができるので、薬の受け取りが便利になる 4. いずれも知らない

## 問 9. 移植医療

①臓器提供の意思表示	1. 臓器提供に関心はあるが、提供する・しないは考えていない 2. 臓器提供に関心があり、提供する・しないを考えている 3. 提供する・しないを決めているが、意思表示はしない 4. 提供する・しないを決めており、意思表示しようと思う 5. すでに意思表示をしているが、家族や親しい人には話していない 6. すでに意思表示をしており、家族や親しい人にも話している 7. 関心がない
②意思表示の方法で知っているもの 〔知っているものすべて選択〕	1. 健康保険証の裏面 2. 運転免許証の裏面 3. マイナンバーカード 4. 臓器提供意思表示カード 5. 臓器提供意思登録システム 6. どれも知らない
③骨髄バンク	1. 登録している ⇒問 10 へ 2. 登録していない ⇒④へ
④骨髄バンクに登録していない・登録できない理由 〔あてはまるものすべて選択〕	1. ドナー登録方法や骨髄提供の流れがわからない 2. 年齢制限や健康上の理由 3. 骨髄提供の必要性を感じない 4. 骨髄提供に抵抗感がある 5. 痛みや後遺症が不安 6. 入院したら収入が減る 7. 家族や職場の理解が得られない 8. 登録会場へ行くのが面倒 9. その他（ ）

## 問 10. 救急医療

①過去1年間に、体調が急に悪化したことはありますか（コロナ罹患を除く）	1. ある 2. ない	⇒②へ ⇒③へ
②そのときどうしましたか	1. 身近にある診療所や病院、急患センターを受診した 2. 規模の大きな病院を受診した 3. 救急車を呼んだ 4. 救急相談ダイヤルに電話した 5. 市販薬を飲んで様子を見た 6. その他（ ）	
③子ども救急相談ダイヤル #8000 を知っていますか	1. 知っている・使ったことがある 2. 知らない	⇒④へ ⇒問 11 へ
④ ③をどこで知りましたか	1. チラシ、ポスター 2. 育児に関する雑誌やホームページ 3. 知り合い、SNS 4. 市町村や保健所から紹介された 5. 医療機関で紹介された 6. その他（ ）	

※「#8000」とは、保護者の方が、休日・夜間の子どもの症状にどのように対処したらよいか、病院を受診した方がよいかなど判断に迷ったときに、小児科医師・看護師に電話で相談できる仕組み。

## 問 11. 人生の最終段階における医療

可能な限りの医療を受けたにも関わらず、治る見込みがなく、死が避けられない状態になった場合

①医療やケア（延命治療※を含む）について、あなたが受けたいもの・受けないものを、家族と話し合ったことはありますか	1. 詳しく話し合って、共有している 2. 少し話したことはある 3. 話し合ったことがない	} ②へ ⇒ ③へ
②話し合った理由	1. 自分の希望通りにしてほしいから 2. 家族が困らないように 3. テレビ番組などで見たから 4. その他（ ）	} ④へ
③話し合っていない理由	1. 家族や親族がいない 2. 家族は遠方において、話す機会がない 3. 話さずとも家族は私の考えを理解しているはず 4. もしものときのことは考えたくない 5. その他（ ）	
④自分の最期をどう過ごしたいですか	1. 最後まで自宅で療養したい 2. 介護施設で療養したい 3. できるだけ自宅で療養し、最後は入院したい 4. 早くから入院したい 5. その他（ ）	

※ここでいう延命医療は、治る見込みがなく死が避けられない状態の方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろう等を、生命の維持のためのみに行うものを指します。

（注）話し合いは、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。  
「知りたくない」「考えたくない」という意見への配慮も大切です。

最後に、医療に関して日頃から感じていることがあれば、ご自由にお書きください。（回答任意）

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございます。  
この調査票は、同封の返信用封筒に入れてお送りください。





# 保健医療に関する県民意識調査結果報告書

令和5年10月

和歌山県 福祉保健部 健康局 医務課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL: 073-441-2610 FAX: 073-424-0425

メール : e0501001@pref.wakayama.lg.jp

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。